

愛知県聴覚障害児・者の暮らし

実態調査に寄せられた

みんなの思い=自由記述



一般社団法人愛知県聴覚障害者協会

本冊子について

現在、一般社団法人愛知県聴覚障害者協会では、県内の聴覚障害児者の地域生活の向上実現のため、5か年事業計画を進めています。

昨年、取り組むべき課題を明らかにするため、独立行政法人福祉医療機構の助成を受け「愛知県聴覚障害児・者の暮らし実態調査」を実施しました。

230名の調査員協力のもと、1,536名（大人1,250名 子ども286名）の皆さんから回答をお寄せいただきました。

調査の結果につきましては、報告書にまとめ、去る3月に発刊させていただいたところです。

本冊子は、同調査において設問項目への回答以外に、「自由記述」の欄にご記入いただいた皆さんからの意見を別冊としてまとめたものです。

聴覚障害当事者・ご家族の率直な思い、切実な願いが記載されています。

ぜひとも多くの皆さんにお読みいただき、それぞれの立場で、聴覚障害児者をはじめ誰もが生き生きと暮らせる環境づくりに思いを巡らせ、協同の輪を広げていけるきっかけとなれば幸いです。

2019年4月

愛知県聴覚障害者協会・5か年計画プロジェクトチーム

「自由記述の多さ」に込められた聴覚障害児者の願い

日本福祉大学名誉教授 近藤直子

- 生の声がこれだけ多数寄せられたことは本調査への期待の表れであるとともに、日常的に不満や不安が蓄積していることの表れでもあると思われる。
- 成人の場合、コミュニケーション障害としての聴覚障害が、職場や地域社会において「孤立」につながりやすいこと、特に高齢化が進む中で災害時への不安が高いこと、安心して交流でき生活できる場を求める声が多数寄せられた。
- 聴覚障害児に関しては、聴覚障害の発見、その後の医療や福祉的支援へのつなぎの問題、更には就学や就学支援に多くの声が出されており、保護者を支える仕組みの不十分さが感じられた。補聴器や人工内耳に関わる補助のあり方にも多くの声が寄せられている。
- 聴覚障害は知的障害や発達障害に比して数が少ないこと、特に盲ろうなどの重複障害は数が限定されることから、障害による困難をていねいに踏まえた支援の重要性が、必ずしも課題として認識されていない現状であることも指摘できる。
- 少数障害の場合、一般市民・県民が会うことが少ないため、障害の状況、ライフステージごとの課題等のニーズへの理解を広げるためには、行政も含めた特段の努力が求められるだろう。

(2019年3月23日 実態調査報告会 全体講評より)

目次

本冊子について

「自由記述の多さ」に込められた聴覚障害児者の願い

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 聴覚障害者による自由記述 | ・・・ 1 |
| 2. きこえに障害のある子どもの保護者による自由記述 | ・・・ 39 |
| 3. きこえに障害のある子どもによる自由記述 | ・・・ 53 |

1. 聴覚障害者による自由記述

※個人を特定した文章以外は基本的に原文のまま掲載しました。

<施設設立への意見>

○高齢者施設・情報情報提供施設の建設への要望 45件

- ・ろう専門の特別養護老人ホームを設けてほしい。
- ・ショートステイだけでもできる場所も必要です。
- ・現在、聴覚障害やろう重複障害者の作業所やヘルパー派遣事業所がある。利用者は若い人ばかりでなく、50～80歳代の利用者もいる。今は、親と一緒に暮らしていたり、グループホームに入ったりしているが、親亡き後はどうするのかといった問題がでてくる。一般（健聴者）のグループホームにでも入るのか、またコミュニケーションが通じないなどがあると思うので、高齢者までのグループホームの建設を早くしてほしい。
- ・老人ホーム不安で作ってほしい（耳が聞こえない障害者対象）。
- ・聞こえない人の老人ホームを建ててほしい。
- ・ろう者のみの介護施設、老人ホームを愛知県にたくさん増やしてほしい。
- ・聴覚障害者専用の老人ホームを作してほしい。
- ・愛知県には聴覚障害者への補助が少ない。老人ホームもない。視覚障害のホームはあるのだから早く作してほしい。この先が心配。
- ・聴覚+要援護者の住まいの場（施設系）を増やしてほしい。また、このアンケートになかったが、触法者も一定数いる。地域の一資源としてもっと活用できたらと思う。
- ・高齢化が進んでいる中、ろうの高齢者に対応した老人ホームなどの施設を聾学校の近くに建てられたら、幅広い世代交流や聾学校の教員、聾学校の親にとっての貴重な体験の場になると思う。
- ・親がいなくなった後の自立支援や生活支援のための施設、ホームを望む。
- ・ろう専門の施設が欲しい(自分の将来も関わる)。
- ・扶養者の兄(健常者)が他界したら入居できる施設を天白区に作してほしい。
- ・一般老人ホームとか高齢施設にかかわる職員を対象として聴覚障害に関する理解と手話講座(学習会)を開くようにしたい。一般ホームヘルパー対象も同様。
- ・一日も早く聴覚障害者、盲ろう者の施設ができるように。
- ・ろう高齢者だけの施設を絶対建ててほしい。

- もっと高齢者が気軽に集まれる場所が欲しい。交通に便利で近くに欲しい。
- 地域でも聴覚障害専用施設を作ってほしい。
- ほっとくる、笑おう舎などの施設が西尾市に欲しい。
- 重複障害者が通える施設・ホームがもっとたくさんあると良い。
- 高齢聴障者が多くなるため、問 20 にある入所・デイサービスのコミュニケーション保障の施設を要望する。
- 聾者だけの老人ホームが欲しい。
- 西三河にサービスや施設が欲しい。
- ろう老人ホームを早く作ってほしい。
- 岡崎にデイサービスを作ってほしい。(ほっとくるや笑おう舎みたいな場所)
- 施設の建設はいつ頃の予定ですか？きちんと計画して本当に施設を建ててくれるのですか？障害者が安心して暮らせるようにしてほしい。
- 笑おう舎をもっと大きくしてほしい。笑おう舎の2階も使えるようになるといい。
- ろう老人ホームなら入所したい(3年前、近くの老人ホーム入所をすすめられたが断ったことがある)
- 老人ホーム早期建設を望む。
- 近くにろう関係の福祉施設が欲しい。同じ世代の人(高齢)が集まるには交通手段がであって欲しい。
- 東三河にろう専用の施設を設けてほしい。
- 各市、各地域に施設があると安心できる！
- 聴覚障害者が気楽に利用できる老人ホーム等の必要性を感じる。
- 早く西尾張に施設を立ててほしい！
- 高齢なので早く施設をたててほしい。
- 皆の話をきくと、生活できる施設を早く作ってほしい。
- 「ろう者が安心安定できるような施設がほしい。」そのために、自分が資格を得て知識、理解、説得力を高めていくところ。
- ろう高齢者の施設/ろう児の施設
- 京都府のいこいの村のような施設があるといいと思う。
- 早く老人ホームをたててほしい。
- 高齢者のための施設が欲しい。
- 聴覚障害者が安心できる施設を西尾張の拠点に重点的に取り組んでいただきたい。
- 老人ホームでなく各地域にグループホームがほしい。
- 聾者専用老人ホームを立ててほしい。
- 西尾張ろう介護センターを設けてほしい。

- 身近な地域に施設（拠点）が早くできることを望む。
- 特別養護老人ホームを増やしてほしい。
- 老人ホームに入れるか心配。建ててほしい。
- 聴覚障害者が利用しやすい施設とろう老人ホームが絶対に欲しい
- 知多半島に、地元で、ほっとくるような施設ができるといい。（阿久比は電車×。常滑駅近くや市民交流センターだと近くていい。）
- 聴覚障害者のためのサービスや施設をつくってほしい。
- 聴覚障害に配慮した長期間生活できる入所施設が多くでき、選んで入所できるようにになるとよい。
- 聴覚障害者のためにちゃんと施設を設立してください。
- 障害者施設の経営支援について。本来国や県・市が実施してもよいと思われる障害者に対する自立に向けた様々な取り組みを民間のNPO他の事業者が行っている実態をより直視し、財政的にも大きな負担が強いられている現状を少しでも改善できるよう支援強化を早急に実施してほしいと強く切望する。
- 障害者施設の実態把握について。行政の方々にはより一層現状把握いただきたく、施設の現場を見ていただきたいと思う。施設の職員の皆さんが厳しい環境の中どれだけ多くの努力をされているか再認識してほしい。

○難聴者への情報提供・施設の要望 2件

- 世間の情報が入りにくく困っている。難聴の人は「ひびき」という雑誌から情報を得ている。
- 難聴協会でセンターの会議室を利用するとき、ヒアリンググループ、拡声器スクリーンを出して使用している。センターが使えない時、他の会館にはついていなくて、大変で負担になる。

<情報保障>

○情報補償機器・文字情報の依頼 22件

- 鉄道等の事故などで止った時マイクでの放送があっても話の内容が解らず他の乗客が下車一度は下りて改札口に行き電光掲示を見て理解難聴者は置きざりになっている。
- 情報保障（名古屋の友人と情報交換している。）が足りない。
- 大手カー用品店にて、オイル交換を依頼。終了後の放送での呼び出しを聞こえにくいため、直接声をかけてもらいよう依頼した。しかし、店員はそれを

忘れずっと放送で呼び出しをしていたらいい。改善策として、フードコートで受け取る呼び出し用バイブをボタンとセットで聴覚障害者に至急すれば活用できるのではないかと思います。わたしは実現したら活用します。

- バス停にバスが来るのが見てわかるサインが欲しい。
- 電車が事故で止まった時、電車内アナウンスなど、声の情報ではわからないので、電車内の電光掲示板又はモニターがついて表示してほしい。
- 映画で邦画をみる時、字幕がないことが多い。また、DVDを購入してもつかない。
- 愛知県社協にある情報保障機器について管理をしっかりと行ってほしい。
- OHC を名古屋の社協のように入れてほしい。その他の機器も、名古屋市社協のように2, 3台あると助かる。愛聴協も会場費、情報保障の機械（磁気ループ、OHC、PC 要約セット、プロジェクター、スクリーンなど）の借用を無料でできると助かる。名古屋市にある名身連聴言センターは、会場費以外の情報保障機材は無料で借用させて頂いている。
- スマホの利用で音声→文字を示す。このやり方に慣れたら、便利になると思う。グーグルの音声→文字のサービスを利用する。
- 電車の遅れや運休があったら、僕たち聴こえないひとのために情報がほしい。(例：駅員に筆談対応、行先表示器に運休と遅れの理由を文字で表示してほしい。)
- 議会や地域の行事、講演会等に手話通訳や要約筆記を全てつけてほしい。
- 情報保障のできる機器の貸出制度を充実してほしい。
- 健常者と不公平なく、政治活動や選挙活動において手話通訳等の情報保障をきちんと整えて欲しい。将来、ろう者が活躍する時代がやってくると思われるので。
- 文字表示の制度を早く進めてほしい。
- 聴覚障害者が働いている環境を整えるべきなのではないかと思う。(例:放送等がわからないので、放送内容が分かる様に字幕が出てくる機会があるとより良い環境になるのではないか。)
- 朝、会社通勤で、緊急(人身事故とか)な電車の時遅れの理由が放送で出ているけどわからなくて何番行けばよいか困った。
- テレビのニュース等には手話を付けてほしい。
- 突然電車が止まったが、すぐ耳が聞こえないため筆談してもらった。電車が止まっている理由を職員から教えてほしい。表示が要望したい。
- 聞こえないという障害は、人と人を切るコミュニケーション障害であることを行政にもっと理解してほしい。人と人を繋ぐ情報補償が充実するだけで自力で生きていけるようになる聴覚障害者がとても多い。

- 見てわかる文字放送のような安心して生きれる環境をつくってほしい。
- 講演会ではループアンテナを利用すると聞き取れてうれしい。今度、大きな講演会にループアンテナを設置してほしい。
- 私は難聴なので手話を読み取ることが難しい。OHCがあると行事に参加できる。

○手話通訳者の派遣の要望 17件

- 手話通訳を増やしてほしい。いろいろな場所に手話通訳者がいてほしい。派遣にメールが使えると良い。
- 困ったときにすぐ手話通訳者を利用できるように 24 時間体制の窓口がほしい。
- 設置が二人いるとよい。（手話通訳士？）
- 火事も自転車事故もすぐに通訳者に来てほしい。
- 通訳派遣依頼方法を改善してほしい。Fax だけでなく、メールとか TEL リレーとか、すぐ対応できる方法。
- 手話通訳者を養成するためのろう者用の手話指導法について話し合う場が欲しい。
- 困ったこと、問題などが発生した時と交通事故などにあつた時にすぐ来てもらえる通訳者があればいいと思う。
- 手話通訳派遣を依頼しても、認められないケースがある。定められた基準はあると思うが、聴覚障がい者が通訳を必要としているのならば、いかなる理由があっても、派遣してもらえる制度にしてほしい。
- 病気になった時、通訳者が一緒にいないと困る。
- 日本手話ができる手話通訳者の養成（技術の向上）
- 24 時間、手話通訳が可能なサポート体制。遠隔でも構わないので、突然の依頼にも対応できるようにしてほしい。
- 手話通訳者の社会的地位向上。給与アップ。通訳者としての自覚なども含む。
- 愛知県聴覚障害者協会に対する要望。平日は行事でなかなか行けないので、時々、土日にかけて欲しい。出版の本を買いたい時、行事の申し込みをしたい時、土日に対応してくれると助かる。
- 手話通訳者派遣の範囲を広げて欲しい。スポーツ大会やヘルパー講習会、近所の葬式、通訳派遣を断られた。手話通訳者が来てくれたのに、私の手話が読み取れず、困った。もっと勉強してほしい。地域の役員をとばされる。前もって確認してほしい。

- 24 時間、手話通訳が可能なサポート体制。当日の突然の依頼でも派遣が可能にして欲しい。（現在は 1 週間前の申請となっており、急な病気の時には対応不可）遠隔通訳サポートを取り入れて欲しい。
- 手話通訳派遣者が大いに増えてほしいですが、厳しい指導よりやさしくしてほしい。手話通訳者に費用がかからず、無料でやっていただけたら嬉しい。
- 質の良い手話通訳者増員のためにも社会的地位の向上を望む。聴者の話を手話表現することは可能でも、ろう者の話（手話）を日本語（話し言葉）にする際、言いたいことが伝わっていないと度々感じる。

○要約筆記者の派遣の要望 9件

- 行政に要望として、職場内への要約筆記派遣を認めてほしい。
- 現社会では、難聴対応＝手話というのがまだ主流。中途失聴者及び高齢による難聴者には手話はとても難しい。要約筆記者をもっと育成し、世に増やしてほしい。また、筆談であればだれでもできることなので、難聴当事者が進んで自分の不都合をアピールし、協力をあおぐことが必要だと思う。
- 中途失聴者(高齢者)にとって手話は難しい。要約筆記者を増やしてほしい。
- 中途失聴者。現在は補聴器を使用すればコミュニケーションは可能。いつかは聞こえなくなると思う。失聴しても社会参加できるように手話を習得したい。近くの手話サークルは健聴者対応であるため、難聴者には要約筆記が必要。市町村に一か所、手話を学べる場を設定してほしい。足腰が元気で前を向いているうちをお願いします。
- 親から見て、両親が年をとって一人になったときに誰が面倒をみるのか不安。頼れるのは相談事業所の人のみだが、本人が日頃連絡をとっているわけではない。考えると途方に暮れる毎日。手話サークルに行ったとしても打ち明けられる仲間がいるのか。友人ができるといいが。
- 要約筆記者の派遣に関し、派遣要綱に「モデル派遣要綱」がある。実際派遣範囲には制約がありすぎるのではないか。「モデル派遣要綱」にある範囲まで可能にすべきと考える。
- 愛知県東部における要約筆記者不足が懸念されています。行政の養成事業、派遣制度の理解のなさも問題で、奉仕員・ボランティアを登録することで間に合わせている現状が将来的に不可能になることを全く想定していないのでは？高齢化している田舎こそ確実な情報保障と専門職としての技術を持つ有資格者が必要。地域格差があってはダメ。
- 旅行やその他の楽しい遊びにも要約筆記者が派遣されると難聴者にも楽しみが増す。小さなグループにも要約者がつくようになるといい。

- ・車の免許証講習の時、健聴者と一緒に、聴こえないことが多く不安だった。聴力障害者でも安心して講習が受けられるように要約筆記者をお願いしたい。

<情報伝達システム>

○電話リレーサービス・テレビ電話への要望 8件

- ・テレビ電話をどこでも1か所おいてほしい。パソコン故障の時電話対応が多い。ろう者のためのテレビ電話を設けてほしい。事故、夜中、病気が発症して救急車を呼んでほしい時、手話通訳者が24時間対応してほしい。
- ・全てのろう者が幸せになるためのユートピアが何なのかわからない。想像がつかない。
- ・電話リレーサービスを使いたい、申し込みの定員がいっぱいで申し込めない。みんなが平等に電話リレーサービスが利用できて、安心して生活ができる制度にしてほしい。
- ・日本財団電話リレーサービスのようなものを作ってほしい。
- ・電話リレーサービス24時間にしてくれたら助かる。
- ・日本財団電話リレーサービスのようなシステム。しかし、これも24時間対応でない。
- ・日本財団が作っている電話リレーサービスを大いに利用できるようにしてほしい。24H体制で実現してほしい。
- ・電話リレーサービスの使用料金を福祉手当として補助してもらいたい。市役所への問い合わせ方法の幅を広げてほしい。メールだけでなく、チャットも1つの問い合わせ方法として！地域の協会と行政の結び付きをもっと深められる様、愛聴協からのフォローがあるとなおさら心強く感じる。

○FAX・メールの対応の要望 6件

- ・公共施設、娯楽施設は電話だけでなくFAXやメールでも対応してほしい。
- ・ドライブスルーを聞こえない人たちにも使えるようにしてほしい。保育園や幼稚園等の連絡方法をFAXや電話でなく、メールが使えるようにしてほしい。(ほとんどがFAX対応。ずっと家にいるのもきつい。外出していても、メールできるようにしてくれると助かる。)
- ・タクシーを使いたい時に呼べないで不便だった。頼むときはファックスを使えるか知らないし電話も使えない。人々が近くないときにメールがタクシーに頼めたらどんなに利用しやすいかと思う。

クレジットカードなど、解約する時、電話が必要と言われることが多い。困らないように改善してほしい。

- 民間企業(特に銀行など)の連絡先を TEL のみとしないようにしてほしい。(東京都は義務化され始めている)
- 電話ができないので Fax にて申し込みができればよい。
- 問い合わせには必ずメールをつける。電話だけのお店には厳罰処理する(京都のお店の予約が電話のみだった)。Fax や手話の使用ができないひともいるので、幅広く対応できるようにする。障害者法の改正をお願いします。ペッパー君や変なホテルなどのただの音声案内ロボットや高速のインター出口は役に立ちません。同時に字幕案内をしてもらわないと困る。

○警察(110番)と消防署(119番)への連絡 4件

- 110番、119番が必要な時、ワンタッチで呼ぶことが出来るシステム。メールで文章を打つのが難しいので、ボタンを押すだけで出動いただけるとありがたい。
- 110番、119番への発信が容易にできるシステム。メール119番はあるがボタン一つで出動いただけるとありがたい。通常でもメールを打つのに多少時間がかかるし、いざという時、本当に落ち着いてメールできるか、不安。
- 家や車でもし意識がないまま倒れた問いはどうなる?ブザーがあれば警察署や消防署に伝えたい。
- 110&119番は不可など充分ではない。又、高齢者などスマホやPCの操作に慣れていない方にとっては利用が困難。もっと容易に利用できる(テレビ電話など)ものが必要。

<公的機関—行政・法律・医療>

○公的機関における手話通訳への要望 26件

- 聴覚障害者が安心して暮らすようにどの施設や病院など広まってほしい。手話できる健聴者を増やしてほしい。(病院や行政、店など)
- 介護士、ヘルパーに手話を覚えてもらいたい。そのための研究を行ってほしい。
- 区役所にタブレットではなく設置通訳者を置いてほしい。
- 手話のできるヘルパーを増やしてほしい。
- 病院で手話のできる職員を増やしてほしい。

- 手話のできる AI ロボットを配布してほしい。夢の中の夢の話ですが実現できたらどんなに楽しいかなと期待しています。
- 病院、区役所、銀行などで手話ができる人が増えてほしい。
- 突然病気になって病院に行かなければならなくなった時手話通訳を頼んでいない。短い時間で通訳者にお願いできるような方法をお願いしたい。
- 病院、区役所内に通訳者が欲しい。
- 総合病院に手話ができる人を置いてほしい。
- 駅などの案内所に手話ができる人がいるとありがたい。
- 病院、区役所の説明がわからない。
- 区役所に手話通訳者がいてほしい。
- デパート、駅などの受付の人に手話ができる人がほしい。
- 講習会に通訳者がいてほしい。
- 戦争中、敗戦中では不利なことばかり、あるべき教育も受けられず、親であっても教育を受けられないろう者がたくさんいる。そのろう者たちはいまどんどん高齢になり、体力も落ちてしまい、考える力も衰え、人生って何だろう！ということもわからないまま世を去る高齢者たち！「聞こえる人は上で聞こえない私たちは下」我慢しているより仕方がなかった時代。今こんなに便利になり、代わり映えのない社会。聞こえる人と同じくらいに自由にどこへでも行ける社会に当たり前のいつでもどこでも手話通訳を設置してほしい。
- 手話ができる警察官が必要です。
- 市役所、病院にて何かしらの説明を受ける時、前もって手話通訳者の派遣依頼をしないとイケない。依頼をしなくてもすぐに手話通訳ができる人が常にいる状態にしてほしい。
- 高齢福祉の担当者に手話ができる人が欲しい。
- 手話ができるヘルパーが欲しい。
- 市役所の人に通訳をしてもらいたいと思う。
- 日頃の暮らしで、手話などで会話できるようにしてほしい。
- 手話で話ができる作業所がほしい。
- 施設でコミュニケーションがとれるようにしてほしい。
- 土地の相談・納骨の相談の手話通訳者の派遣を認めてほしい。
- 緊急の派遣をやってほしい。（病気関連で手話通訳者がきてほしい。）

○行政への要望 25件

- 行政が発信するメール（アプリ？）というような情報はあるか知りたい。なければ作ることを期待したい。

- ろう相談員が欲しい。
- 名古屋市の場合、障害者に冷たい。もっと公的な施設に啓蒙を望む。
- 役所への手続きが面倒。年に一度でよいので、通院などについて役所から連絡してほしい。
- くるりんバスの案内の音声小さく聞こえないときがある。見えにくさもあるので、不安になる。
- 聴覚障害者の理解を広めて。安心できるようにしたい。役場の福祉課で手話を少しでもいいから覚えてほしい。
- 手話通訳者が聴障のプライバシーを他人に話したという話を度々きいています。あくまで仕事なので、秘密を必ず守れるよう何らかの制度を設けてほしい。
- 南知多役場に設置手話通訳者をつけてほしい。
- 手話に詳しくない聴覚障害者にも分かるように行政の窓口の係りの方に周知してほしい。毎年人が変わるたびに説明しなくてはならず、手続する時につらい。行政の書類に文面の中に分からないことがあり、確認しようとしても、コミュニケーションが取れてるはずなのに理解が(こちらの常識の?)及ばず、“こんなことが分からないのか?”という態度をされるので、いたたまれない。
- 行政は、市民のための働きであり、耳が聞こえない方にもちゃんと理解してもらいたい。声を聞き、受け止めてない。
- 福祉サービス。相手や兄弟と同居しても**お知らせラップを使えるように認めてほしい。昔は禁止だったけれど、現在は認めてるか知りたい。相手や兄弟は健常者なら、不在の時、不便があるため、使えるようにすべき。
- 県に対して、もっと聞こえない人のこと、手話という言葉があることを伝えてほしい。そして、理解してほしい。
- 行政と聴覚障害者団体(ろう団体、難聴団体、盲ろう団体)とが定期的に話せる場作りや、支援団体へのヒアリングの実施などを希望する。
- 行政の方も手話を覚えてほしい。見えない壁まだまだあるので、みんなが安心して暮らせる街になることを夢見ています。
- 日本の福祉はまだまだ外国と比べると低い。どうしたら同じになれるでしょうか？
- 福祉課に聴覚障害に対応できる課、専任を！
- 行政職員に障害者差別解消法の合理的配慮に関する研修を実施してほしい。
- 連絡手段が電話しかないところも中にはあるところがある。電話が難しい聴覚障害者が安心して生活できるように、行政の中に気軽に生活相談ができる窓口があるといいと思う。

- 他県と比べて愛知県の対応が遅い。早急に実行すべき。
- 行政への依頼。身寄りのない一人暮らしの方も、後見人制度を知ってもらうため、出前講座とか高齢者も見てわかりやすいリーフレット(イラスト付き)を活用してほしい。
- 行政にもっと困っていることを見せていくことが大事だと思う。自分もそうだが、福祉の制度を知らない聴覚障害者もいる。また、両親が健聴で、子どもが聴覚障害者であると現状的に人工内耳がすすめられ、「手帳をとりたくない」という考え方もあり、どうしても視野が狭くなってしまう。そうではなく、福祉は恥ずかしいことではないということをもっと世に広めていってほしい。
- 行政について。福祉のパワーだけではなく、多角的な見方で、長期的な戦略を練ってほしい。
- 行政は何年かかっても本当に困っている人を見てくれない。聴覚の障害は見えない障害なため、表は元気になっているが、いろんなことで壁がたくさんある。地元の行政へ何度も要望を出してきたが、なかなか取り計らってもらえない。
- 病院と市役所間の無料バス、時刻(運行)を増やして欲しい。時間によって1時間がない運行もあり2時間歩いて帰ったこともあった。
- 市役所からの郵便物の文章の意味が分からない。今は息子に記入してもらったり設置通訳者がいる時に市役所へ行き、説明を受けながら記入している。

○補聴器・人工内耳の助成 4件

- 補聴器を使っている人で、障害年金がもらえない人に対して、補聴器の助成金を増やしてほしい。
- 補聴器の補助が市区町村によって違う。名古屋市は特別な事情がないと耳穴式の補助が出ない。耐用年数が6~10年の補聴器は度々買い替えなければいけない。大きな出費となる。住んでいるところによって補助が出る、出ないはおかしいと思う。一律して補助してほしい。
- 補聴器の購入時の補助をぜひお願いしたい。あまりの高価のゆえに。今現在手帳を持っている方のみ補助がある。不公平ではないでしょうか。
- 人工内耳に対する補助がなく、充電電池等必要な部品すら100%負担するのはかなりの負担である。収入が普通の人より少ないのだから、何らかの形で行政が取り組むべきである。特に名古屋市は、装用者が多いからと、消極的であるが、福祉に対してもっと力を入れてほしい。河村市長の考えもあるだろうが、あんな名古屋城にお金をかけてその一部でも回せないのかとあきれ

○障害者差別解消法、手話言語条例への意見 4件

- 各市、手話言語条例制定してほしい。
- 手話言語法 県聴覚障害者協会の役員の見直し(忙しい、できなかったの言い訳が目立つ etc) 地域の理解度拡大(手話言語)。障害者差別解消法や愛知県手話言語条例がまだ県内でも知られていない。行政にも働きかけて、知ってもらふことや理解してもらふ活動が必要だと感じている。
- 障害者差別解消法、手話言語条例の普及がうまくいくよう頑張りましょう。
- 愛知県の手話言語・障害者コミュニケーション条例を知らない行政職員が多いため、積極的に啓発してほしい。

<聴覚障害者の理解啓発>

○聴覚障害者理解への啓発活動 15件

- 聾者の理解を深められるような啓発活動が必要である。
- 聴覚障害といえば聞こえの問題だと思われがちだが、言語獲得の手段が視覚のみということは、聞く力だけでなく、書く、読む、の力に大きく関わってくる。筆談のできるできないに差があることを市民に広く知らしめること(PR)ができる場が欲しい。聞こえない→筆談すればいい、だけではなく、聞こえないことから来る、生じる支障や困難を知らせたい。ろうに関しては、医療、教育、生活の一括代と問題の連携が必要と思う。
- 他の人から見て“自分が聾者(聞こえない人)”であることが分かるような工夫があるといい。
- 「聴覚障害者の生活上で困ることは何か」ということがわかるパンフレット等を作って。より聴者に知ってもらいたい。
- 安心して暮らすために健聴者にも手話を学んでほしい。わかる目で配慮をしてほしい。
- ろう者、難聴者である姿を見ていても、普通と同じ見方をされる。難しいと思うけど、できれば、手話よりジェスチャーができれば聞こえない人たちは喜んでくれる。
- もっとマスメディアを使って聴覚障害者に対する理解を深めてほしい。障害者差別解消法ができて、なかなか障害者の理解が広まらない。
- 住んでいるところにろう者の理解があってほしい。

- 夫婦 2 人とも高齢で情報が遮断されがち。体調の不安などあり、安心して暮らせるような状況ではなく不安な・地元で手話ができる人を増やしてほしい。
- 私が突難で不自由になった 40 年近く前の社会を思うと、現在は理解度が深まっている。しかし、外に出ると不自由なことがたくさんある。多くの人が困っているように感じる。1 つ 1 つ挙げられないが、次の世代の障がい者が心豊かに（ハンディキャップを感じないで）生活できることを願う。
- 家族の中に聴覚障害の人がいるとコミュニケーションの方法がスムーズ。だが、一般社会の中では、何か起こったときに筆談を頼むと断られる時がほとんど。見た目で見えない障害の私たちはどうすれば良いですか？
- 手話ができる人を増やすために、ろう者がきこえる人に手話を教える方法など、学ぶ場所が欲しい。
- 手話ができる人がもっと増えるといいなと思う。
- 踊り講習の説明を手話に変えて教えてもらいたい。
- 仏壇関係の買い物でコミュニケーションとして手話で話をしたい。

○難聴者・中途失聴者の理解・啓発への要望 9件

- 障害者をひとくくりにされると困る。障害は一人ひとり違うのでみな同じではと思われることは本当に困る。中途難聴で手話の勉強を始めたばかりなのに手話ができると思われたりするのには困る。話を聞いてよく理解してほしい。
- 中途失聴者は手話も十分でなく筆談でお願いしたい。健聴者の方は筆談拒否されますので困る事が多い。病院・入院時は不安です多忙で筆談はムリと聞く。
- 難聴者に対するアンケートが初めてでした。このような制度があること知らなくて、ほとんど利用していない。
- アンケート内容が難聴者を重視していない。
- 家族で暮らしている若い人にも難聴を抱えている人が数少ないかもしれませんがいることをもっと理解していただきたいです。2 級以上の一人暮らしの人しかサポートがないのではなく一人で昼間過ごしていることが多い主婦には聞こえないことがものすごく不安で不自由さを日々感じる。もう少し難聴の方に寄り添う福祉政策をしていただけるとありがたい。
- よく資料で“きこえない”という言葉が見られるが、難聴者の中には“きこえにくい”という人もいますので、きこえないといわれると、抵抗感がある。
- 「手話は必要で手話がないとダメ」と言う人がいるけど、手話ばかり使うのはちょっと…と思う。文をちゃんと使いたいし、声も必要なので、口話も大事ということを知ってほしい。

- 聴覚障害者でも手話のできない人たちはたくさんいる。口話も分かりやすく相手に伝えることも進んでいないのが現状。筆談しますというプレートをどこでも設置してほしい。
- 補聴器について、知識のある医師やナースの養成が必要。

<聴覚障害者の交流>

○聴覚障害者の交流の場 12件

- 一人でも行ける、入れるようなサロンなど設けていたら、行きたい。色々相談したり、愚痴とか話したりする場が欲しい。
- 聞こえない子どもや高齢者が一緒に集まって交流できる場所が欲しい。
- 誰もが自由におしゃべりできる、集まって交流できる場所や部屋が欲しい。
- 自由にだれでも気軽におしゃべりできる集まって交流できる場所や部屋が欲しい。
- 愛知県に聴覚障害者が、自由に集まれる場所を救ってほしい。なかよくコミュニケーションを取れるようにしてほしい。聞こえない人同士仲良くしてほしい。
- 父母（育児をしているろう者）の集まりや、学生と社会人との交流（将来仕事するための質問したりする）をする場が必要では？
- ろう者のたまり場はどこなのか知りたい。
- 国際結婚されているろうあ者との交流会やイベント参加の呼びかけの協力を要望する。
- 聴者にあって当たり前の社会。ろう者は聴者の割にごく少ない人数である。コミュニケーションの違いから残されてしまう。交流、簡単な対話でもできると聴者は見てしまう。でも限りがある。空間、程度などに苦難を覚えてしまう。手話限りなし話し合い交流できる場所を設けてほしい。
- 手話、身振り、コミュニケーションができるろう高齢者のたまり場をたくさん作ってほしい。実施も。
- いろいろな行事に参加したいが参加しにくい。気楽な集まりの場がほしい。
- 友達の聴覚障害者にも会い、みんなで話をしてコミュニケーションしたいと思う。

○難聴者の学習・交流の場 2件

- ろう者の施設や団体だけでなく、難聴者が集まって話したり、相談できる施設があるといいなとずっと思っていた。愛知県内、できれば日進市に希望。

- ・読話講座に参加させていただきました。名古屋まで家が遠く、近くには学ぶ場所や集まる場所がありませんので、近くにもあるといいなと思います。(当方知多地域)

○愛知県聴覚障害者協会 15件

- ・愛聴協は、もう少し一般の声をよく聞くべき。
- ・弱い立場の人になって運動をすすめてもらいたい。
- ・あいち聴覚障害者センターは古く、エレベーターがなく、トイレが狭いので、新しい施設になるといい。
- ・安心して暮らしていける聴覚障害者の生活を考えて、活動して行ってほしい。
- ・愛知県聴覚障害者協会と愛知県難聴協会は、もう少し手を差しのべ合ってほしい。具体例として、筆談マークと耳マークの問題。両方必要だと思うが、設置方法の問題かな。対立したら、結局聴覚障害者と難聴者とのいがみ合いになってしまうおそれがあるから。でも、一昔前よりもずいぶん仲良くなったと思う。センターの方も気さくに話してくださり感謝している。
- ・愛聴連のHP 内容が乏しい、あまり更新されていない。県内に手話ができる店員、スタッフがいるところのマップがほしい。
- ・一緒に歩いていきましょう。
- ・一緒に歩み合って協力していきましょう。
- ・愛知県聴覚障害者協会のセンターを建ててほしい。
- ・仕事は人がする。地域で頑張っている人たちの気持ちを汲み取り、ネットワークを大事にし、ともに活動することができるよう、人を大切にし、育てる活動をしてくださることを望む。
- ・会員に声掛けして上下関係をよくしてほしい。
- ・助け合いたいため、地域の会長として、自分が住む地域にろう者がどこに住んでいるのか、情報がほしい。
- ・愛聴協について。会員減少が続いているが、何か対策をしているのか？がんばってほしい。
- ・愛聴協独特の会員制度を全ろうとは別に設けられ、県内の誰もが気軽に行事参加できるように整えてほしい。
- ・愛聴協のある建物にエレベーターをつけてほしい。愛聴協の会費の支払い方法が不便になった。元に戻してほしい。
- ・協会の行事等参加したいのだけど、家から遠いので往復の時間がかかりすぎる(金銭的にも大変)。地理音痴なので場所がいろいろ変わると覚えられない。地域での付き合い、家の仕事等でなかなか時間が取れず参加が難しい。

○余暇活動の充実に向けた活動への要望 3件

- ・今、マルシェがブーム。その手作り雑貨に、体験したい施設があるといい。
- ・ろうあ連盟でマーシャン部を作ってほしい。ただ堅いだけの聴覚障害者協会の運動には関心がわきません。上昇指向の高い（福祉的でない）聴覚障害者協会の取り組みを希望します
- ・あいち聴覚障害者センターが狭く、交流の場がない。事務的な施設だけにせず、交流、講座（趣味など）も利用できる部屋が入ると良いと思う。

○あいち聴覚障害者センターへの意見 3件

- ・情報提供センター、期待していたのですが、どうしてできないのですか？
- ・ろう協会、あいち情報センターだけの施設を建ててほしい。
- ・聴覚障害センターを新しく建てる話を20数年まえからありましたが、まだですか？建てる希望としてヒアリンググループ設置とスクリーンをつけるよう要望する。

<災害対策>

○災害対策や災害時のサポート 17件

- ・聴覚障害の人、もしも地震が起こったらスカーフ着用したい。
- ・自然災害が多いこの頃不安な気持ちが大きくなっていく。何かと壁が多いが苦しみを行政に十分に理解して頂きながら少しずつ解決できれば良いと思う。
- ・災害時、コミュニケーションが取れないため心配。
- ・災害時に、ろう者が利用できるルートを分かりやすくしてほしい。例えば、使用できる避難場所への行き方。その際、スムーズに話せると良い。また、避難場所での連絡もスムーズに分かりやすく、通訳も設けてほしい。
- ・地震があったとき近所の人から協力してくれないか心配。
- ・災害で安全な所へ避難したら避難生活をするのが大変で不満なことが多いかもしれないから、障害者に役立つ付き人とボランティアの人々を前もって多くしたい。
- ・災害訓練に参加したけど分からない。通訳者が一人でもいてほしい。
- ・災害時、ろう者がここへ行けば仲間や通訳者がいると安心できる場所を設けられたらいいと思う。

- ・災害時にいろいろ伝わるかが不安。聴覚障害者がみな手話ができるわけではない。伝える手段を教えてください。
- ・災害が起きた時に果たして避難生活ができるのか。私は人工内耳をしています。補聴器も人工内耳も電池がいる。すぐに手に入れるように、家がくずれてしまったり、したら、取りに行けないし、後、ごはんとかもすぐ来てくれるのか、北海道地震の状態を見て、すごく、不安になった。三河地方はまだ大きな災害はないが、いつか起こるので、いろんな情報がいつでも入るように、私は家族がいるので今はいいですが今後対応してほしい。
- ・自宅の周り避難場所に緊急の時手話通訳者のいるところがわからない。
- ・災害時の聴覚障害者への対応方法。
- ・災害時、情報を早く知らせてほしい。
- ・災害のときに自分の居場所がわかるようなものが欲しい。
- ・災害が起きた時に何をすればよいのか。避難情報が出た時に、聴覚障害者にわかりやすく伝える方法はあるのか。避難場所に手話・要約のボランティアはいるのか。そのことがわかるように情報提供してもらえるのか。地域の対応を知りたい。
- ・不安が大きいのは災害。あちこちで地震や大雨(水害)が起きている。ろう者のいる地域に何かの対策はしてるか知りたい。
- ・公共施設に、目で見て判断して避難できるように、回転灯や文字表示装置を設置してほしい。

<盲ろう者・ろう重複障害者>

○盲ろう者施設の建設の要望・盲ろう者へのサポート 6件

- ・飲食店やスーパーなどの近くに盲ろう者の施設があると便利である。
- ・県や市に盲ろう者専用の老人ホームがほしい。
- ・盲ろう者への詐欺を防いでほしい。一人で自由に出掛けることができないことが一番苦しい。ろう者の障害をもっと広めてほしい。町の中でももっと理解してほしい。
- ・盲ろう者に対する差別がまだあるので、差別がなくなる社会にしてほしい。
- ・手話サークルが夜にあるけれども、全く見えないので出掛けられない。ほっとくるへ行く時に介助員を探すことが大変である。買い物へ行く時、名古屋はいい場所が多いので行きたいけれども、なかなか叶わない。盲ろう通訳者や介助員の都合が付かないことが多い。生活で困った時はほっとくるのスタ

ップに頼みむことが多い。ほっとくるには、1か月に5～9日間くらい利用したい。

- 階段や段差があるところは、黄色のテープを貼ってほしい。夜でも見えるテープでお願いしたい。エレベーターの設置をお願いしたい。エレベーターの階数のボタンは数字の部分を大きくして見やすくしてほしい。
- 仕事ができる作業所のある施設がほしい。盲ろうの状態であるが、仕事がしたい。

○ろう重複者が抱える問題 4件

- わたしは、先天性心臓病があります。重複障害者です。一歳半のときに聞こえなくなり、小3から補聴器使用。聞こえないことに気づかなかった。重複障害で内部と難聴のハンディの人は私一人ですか？こういう人たちの福祉に関する情報は全くない。辛い。交流もない。難聴だけの人と違ってついていけないところもたくさんある。病気の人に合わせてもらえないので会合に参加しにくい。
- 聴導犬が必要です。育成するセンターを作ってほしい。そういうセンターで働くのが私の夢。
- 今回は、聴覚障害者が対象ということだが、中には、私の様に聴覚障害＋下肢障害という重複障害者もいるので、重複に関係ある内容も増えてしまっている（問10,問11のように）。聴覚障害のみか、または重複障害かのような対象についての項目も必要だと思う。
- 公共交通機関を利用する際、1人で利用する時でも手帳を提示すれば無料で乗れるようにしてほしい。（施設に通うための交通費もかなりかかる。年金だけでは無理。）
- 聴覚障害関係の施設職員は、聴覚の障害にたずさわるだけでなく、重複している障害についても理解と学ぶ機会を願う。他の機関に学びに行ってほしい。手話でさえできればよいのではなく個々の居場所になる覚悟なくしてどうしてこの仕事をしているのか。安心して通える場所は無いかと落胆してしまうことがある。

<その他>

○今回のアンケート調査への期待と意見 9件

- このアンケートの結果を踏まえて、施設設立を果たせるのか。
- 実態調査の結果が反映できる聴覚障害者の社会資源整備を期待したい。

- このアンケートは難しい。
- もう少し、アンケート回答しやすいシステムにしてほしかった。（今回は機会に恵まれ、回答することができた。）
- 問六について。仕事はしていませんが、困ったことがいっぱいある。初めて職場に障害者をうけ入れる時に、理解があるかないか、いろいろなことがたいへんだった。
- 文章が苦手なので文を読んでも理解することが出来なく困っている。手話で使っている言葉を分かりやすいように説明又は文よりも手話を使ってアンケートが出来たらいいと思う。
- 次回からは、年齢に配慮した方法で記入できるようにしたらいいと思う。
- 番号の流れをわかりやすく説明してほしい。長い項目を次にまたがる時は「次のページへ」と明記してほしい。
- このアンケートを通して、聴覚障がい者・児が困っていることを知ってもらい、それに対して、改善できるよう努力してもらえると嬉しい。聴覚障がいでも難聴とろうではニーズが異なることも分かってほしい。また、ろう文化があることも健聴者に理解を深めてもらいたいと思う。

○心理的な不安 5件

- 息子とのコミュニケーションがうまくいかない。
- 不安が多い。
- 親が亡くなったとき葬式の手続きを息子が中心に進める。自分に情報をくれない。困る。悲しい日々である。1日でも早く聴覚障害高齢者が安心して暮らしていける施設を望んでいる。
- 近所付き合いがないと1人では不安。
- 聴覚障害者が安心して暮らせることを望む。

○手話サークル 3件

- ろう者に理解のない手話サークルがあると聞きます。そこは、たいていろう者がいないか、数が少ないところが多いように見えます。愛聴協として、何か対策はとられているのでしょうか？
- 私は地域の昼の手話サークルに行っていましたが、ろう者に理解のないサークル員がいて、サークルをやめたいです。ろう者は私を含めて二人。もう一人もやめたいそうです。新しいサークルを設立しようかな…。
- 若いう者たちは手話サークルに入ってほしい。

○聴覚障害者へのカウンセリング・心理支援 2件

- ・家で引きこもっているろうあ者がいる。車を持ってないろうあ者だ。送迎車があればいいと思う。
- ・企業の中で情報から孤立し、うつ病になる人が多い。うつになったことと、聞こえないこととを関連づけてカウンセリングできる場、人が必要である。企業に対し、県から聞こえない人への情報保障を促進する働きかけが必要。聞こえない人の職場での立ち位置が弱く、聞こえない人本人の努力では到底及ばない。

○年金・金銭面の問題 3件

- ・金銭的な問題で情報を得るためのメディア利用ができない。
- ・一戸建ての持ち家を持っているが、聴障者にとって年収が少ない為、土地固定資産税の負担が大きいのでゼロもしくは減免してもらえると助かる。一度検討してほしい。
- ・障害年金の件ですが、制限を免除してほしい。

○教育への提言 2件

- ・学校での手話教育が必要だと思う。今から10年、15年先を見て考える。教育委員会にお願いして、学校レベルでの手話授業を行うべき。
- ・聴覚障害児教育の内容について少し改善してほしい。(ろう学校、通級指導など)

○手話単語を増やす活動 2件

- ・全日本ろうあ連盟で、これからももっと新しい手話を作り、増やしてほしい。
- ・愛知県聴覚障害者協会で、愛知県の地名や地方特有のことばの手話を作り、増やしてほしい。手話の編纂活動を進めてほしい。

○その他

- ・木造復元される名古屋城にエレベーターを設置してほしい。
- ・言い合いではなく、話し合いを豊かにしてほしい。
- ・選挙の情報が無いためだれに投票すれば良いか分からない。
- ・教会の勧誘が多くて困っている。
- ・スポーツ向上に期待している。

- 障害者手あてなどがもっとわかりやすくなって欲しい。
- ろう協会というと、「何かの運動に参加しなければいけない、何かの役員をやらなければいけない」という雰囲気があって加入しづらい。また、若い世代の集まりが無く、いつも老人や中年の人たちが集まっているイメージがある。
- センターが駅から遠いのが困る。センターにエレベーターが欲しい。
- 市人口に配慮した施設に駐車場を多く作ってほしい。
- 車を手離れた後の交通方法。
- 障害者が一人で出かける時の交通費を考えてほしい。
- 高齢者に敬老パスの発行(愛知県全部)。
- 県民に手話を広めて、自由な会話ができる社会になってほしい。
- バスの段差をなくす。
- 愛知県内、レストラン喫茶店などの注文呼び出しボタンがなくて困っている。また、文にふりがなをつけてほしい。
- タクシー24 枚足りないのでふやしてほしい。
- 役所で言われた事。障害は耳だけでない。と聞こえない事を見ためにわからないし見える歩けるから軽く見られる。
- 国(省など)が、障害者雇用の水増しが発覚したのでそれをなくすためにしっかり対策してほしい。
- UD トークの仕方、勉強会、講習会の参加希望。
- 足が悪くなってきたので制度の範囲で用具(車イス等)を利用したい。
- 正確な情報を早く知ることができると良い。
- たくさんの意見を集めて要望をださないと難しいのでは? たくさんの人が必要。
- 産まれてくる子供が聞こえないと分かった時点で、手話という言語の獲得をする場を作ってほしい。
- 東海市、東浦町周辺からきて助けてほしい。
- ネットワークもすばやく早く入れたほうがいい。
- 今はスマホがあるが、時代は変わるので、その都度対応できる物があると良い。
- 図書館に手話に関する本が少なすぎると思う。
- 県会費を口座引き落としにしてほしい。忙しいのにお金を私に行く時間がないだけに、期限を言ってくる役員が不快。

<その他の自由記述>

○高齢者の施設や福祉 16件

- 高齢者施設ホーム設置したい。
- 老後が心配。近所からフォローがもらえるのか心配。妻が認知症で夜に家を出てしまう。
- もし一人になってしまったら…不安が大きい。その時は同じ聞こえない人の手話でサポートが欲しい。
- ろう者のための手話のある老人ホームを作ってほしい。
- 老人ホームを作ってほしい。
- ろう者のための老人ホームを建ててほしい。
- 今は夫と二人暮らしで助けてもらえるし特別困ることはないが、一人暮らしになれば色々出てくると思う。もっと進んで、独居が難しくなった時に聴覚障害があっても入れるホームが数多くできるといい。テレビで、札幌に介護士全員が手話ができる高・サ・住があると知り、今後ますます高齢者が増えるので、私の身近にそういう施設ができれば安心する。入りたい。
- 老人ホーム、ショートステイを利用したいが、いくらっかあるのかわからず不安である。説明会があると参加してみたい。体が動けるうちに行きたい。
- これからむかえる超高齢化時代に向かって、やはり聞こえない人が、施設やホームで孤立しないよう、手話のできる介護士や、ノートテイクできる人も必要になっていくことでしょう。行政に今以上に手話通訳・要約筆記の必要性を訴えたい。
- ろう高齢者の集まれる場所が欲しい。
- 一人暮らしになった時の長期入院、介護施設利用に不安を覚えます。
- ほっとくるに時々通っているが、自分が住んでいる地域の近くにも同じような施設ができるとうれしい。
- 介護施設を増やしてほしい。健聴者ばかりの施設では、ろう者が独りぼちになってしまう。ろう者が集まって手話でコミュニケーションできる施設を増やしてほしい。
- ほっとくるのような手話で話せる楽しい場所が家の近くにほしい。時々行けど、送迎がないため、タクシーを使っている・・・。
- 40年ほど前から手話通訳、要約筆記ボランティアの活動を数年前までしてきた。しかし電話は20歳代からとても苦手なものでした。30歳代になって難聴者の人から「あんた、聞こえてないんじゃない？」と言われて初めて聴力の弱いことに気づいた。軽い難聴は自分ではなかなか気づかない。1年

前まで勤めていたが電話は絶対に取りなかつた。聞き返しが多く、相手が何と言っているのかよくわからなかつた。打ち合わせ、会議ではほとんど内容が把握できないことも多く困っていた。手帳を持ってないごく軽い難聴でもこんな様子です。高齢者の難聴者は実は困ることが多い。デシベルダウンの運動と高齢難聴者の理解と今後についての啓もうは広く必要なことと考えます。

- ほっとくるや笑おう舎の存在を知らなかつた。高齢になったときに笑おう舎のようなところが近くにあると良い。

○愛知県聴覚障害者協会・あいち聴覚障害者センターへの意見・要望 8件

- 聴覚障害者には、ろう者、難聴者、中途失聴者、老人性難聴者が含まれるが、愛知県聴覚障害者協会の役員、会員はほとんどがろう者だと思う。愛知県難聴・中途失聴者協会が別団体としてあるから、「愛知県ろうあ協会」に改名して方がよいのではないかと思う。全国ろう者団体は全日本ろうあ連盟になっているので。私の地域はろう者と難聴者の仲が悪いので団体を別にして
- いる。
- 悩みなど、困ったこと。以前に相談しても何もしてくれない。信用できない。相談ができない団体なのか？また、プライバシーを厳守しないといけないのに、他人に話されて(うわさ)ショックを受けたことある。
- 通訳者のリストを配ってほしい。
- 福祉実践教室の予定(1年間)がわかるようにしてほしい。
- 愛聴協5カ年計画の実現を願っている。
- あいち聴覚障害者センターには日ごろから大変お世話になっております。ありがとうございます。電子媒体を利用した情報発信に期待しています。
- 協会の皆様のお力でいろいろな恩恵に預かれますことを感謝しております。ありがとうございます。
- 名古屋市に加えて、愛知県内の一部の市(豊橋、岡崎市など)で、人工内耳のスピーチプロセッサを買い替えの時(5年?)補聴器のように補助を出して貰う運動をしている。愛聴協でも後押しをしてほしい。

○災害時のサポート 8件

- 近所とあいさつのみの関係。災害が起きた時にサポートをもらえるのか不安である。
- 隣の家が火事になっても気づきにくい。
- 地震が起きたことを知らせるランプが欲しい。

- 災害起きた時、安否メール会員向け設けてほしい。
聴覚障害への不安、災害とか交通マヒなど。情報によせた…。交通機関に提供してほしい。(例) (字まく)つけるとか。駅員さんに対応など…。
- 火災、地震、台風など町内放送(スピーカー)が流れるようですが、聞こえないので何を言っているか分かりません。情報が入ってこないのではとても不安です。
- 一番不安なのは災害時。情報が入るかどうか、避難所での生活が不安。
- 電話お願い手帳じゃなくて、聞こえなくてもできるアプリをつけてほしい。
例えば、山道とか田舎風の道とか災害が起こった時、健聴者がいない場合。緊急時助けを呼ぶ仕組み。
- エレベーターの非常通報ボタンを使用する時は、どうやって使えばいいのか分からない。不安です。

○手話通訳者派遣への要望 7件

- 手話通訳派遣する条件の範囲を広げてほしい。例えば、趣味、資格など。
- 耳が聞こえない子どもが通訳申請できるようにしてほしい。ろう児が普通校へ通うとき、通訳者を付けてほしい(希望があれば)
- 市の企画があった時、通訳派遣を認めてほしい。
- 通訳者を増やしてほしいので、若い人にも興味を持ってくれるようなことを積極的に仕切る。
- 親戚の人とのコミュニケーションに困ることがある。手話通訳者に来てもらい、話をしたい。緊急の連絡方法がわからない。買い物するときになんて言っているかわからない。通訳者が内容を多少省いて通訳してないか心配。個人情報をもらさないでほしい。(漏れた人いた。)昔はよかったが今はダメ。
- 手話通訳は「福祉」の枠組みに入っていることに疑問を持つ。健聴者と同じ情報を得るのは福祉で考えることなのか？
- 夜に活動できる通訳者が少ない。特に男性の通訳者が少ない、通訳者育成にも力を入れてほしい。公的な場所(病院など)に通訳者を配置してほしい。ろうの赤ちゃんが生まれた時には、医者や先生など健聴者ばかりではなく、ろう者の相談員もいてほしい。

○近所付き合い 5件

- 近所的人是私が聞こえないことを知っているが誰も話しかけてくれない。多分どのようにコミュニケーションをとればよいのか分からないのだと思う。
- 近所の人がか力になってくれようとしても、具体的に何をどのように助けてほしいのか、うまく伝わらない場合が多い。

- 隣人が無許可で作ったよう壁(高さ3M くらい)が当方側と反対側の土地にはみ出してきている。市役所に確認申請して許可を受けていないものが強度的に弱いからコンクリートの壁にクラックが入り中に入れた土砂の圧力により広がってしまっている。一番危険性高いのは向かいの宅で奥さんは危険感をもったころから別居状態のようです。市役所からは隣人によるよう壁撤去指導が出ているが無視続けている。こういった一筋縄ではいかない人物に対して当方聴覚障害者に代わって対応してくれる法律制度が欲しい。
- 自分は耳が聞こえないことを、周りの人たち(近所のママ友、行政、スーパーあらゆる場所で)は知っている。しかし、コミュニケーションになると、消極的になる。なぜそうなるのか私にはわからない。聞こえる(手話を知らない)人の気持ちを知りたい。手話を覚える義務みたいなのがあればうれしかなと思う。文章力はそんなにうまくない。手話を知らない人はほとんど誤解されやすい。時間かかってようやくわかることがよくある。やっぱり手話で話したい。
- 無線放送(町内で流れる放送)の存在を知らず、初めて市役所に聞いたらこんな事を放送していると知り、何だか疎外感を覚えた。子どもは聞こえるため、「ママ、何て言ってるの?」と聞かれ何も答えられない。とても無力感だった。情報の意味では差別なのかな?と思った。

○手話による情報保障 5件

- 観光施設(名古屋城、徳川園)、博物館など手話ガイドでの案内が欲しい。
- 文字による説明、解説ではなく、手話で話してほしい。
- 旅行ツアーでの、ガイドに手話ができる職員を増やしてほしい。
- 教会に通っているが、手話をもっと学習したい人がいるようだ。健聴者と共通のコミュニケーションの場を作りたい。また、手話言語の語彙が足りない。また、手話の表現が「NHK」「ろうあ学校(京都)」「技能研」それぞれ違うようで少し混乱させられる。「日本語対应手話」と言うが、不足している単語の手話表現を統一して辞書を作ってほしい。

○今回のアンケートに関する意見 5件

- なぜ今になってアンケートをするのか。もっと早く動かなかったのか?疑問に感じる。他の身障者団体が積極的に動いているのに、聴覚団体はあまり自立たない。国に対しての要望が薄いといわれてもしかたがないのではないか?
- 答えやすいアンケートで大変良いと思います。よろしく願いいたします。

- ・聴覚障害があることで不便に感じたり「こうしてほしい」「こうなると良いのに」と思うことがあることは、当然だと思ひ、それを訴える場、相手も必要だと思ひます。そういう観点から、このアンケートは実際により良い暮らしを実現することを目指すためにも必要だと思ひます。ぜひこのアンケートの集計結果、今後の具体的な取り組みも公表されると良いと思ひます。
- ・アンケートに回答するのはなかなか難しい。役員の方々集計ご苦労様です。
- ・アンケート調査があれば地域を把握できる。今後とも続けたい。

○手話への意見 5件

- ・耳の日の手話スピーチ、なぜ声を出して手話を同時にやるのか分からない。今までに見て分かりにくい。手話は言語というなら、基本的に声を出すのではなく、文法のある手話(自然言語)を表すべき。
- ・手話を学ぶ人が、日本手話・日本語対应手話、どっちが正しいの？と声が多く、きちんと基本的(日本手話)を広めるべき。
- ・どこに行っても手話ができる場を作りたい。
- ・手話の勉強をしているが、奥が深いと思ひ。なかなか追いつけないが、焦らずマイペースで覚えていこうと思ひ。
- ・コミュニケーションとしてスピードが速いのは手話だが、細かなニュアンスのやり取りでは、手話が不十分な場合もあり、マニュアルに沿っていても手話通訳のみでは情報が不足すると感じることもある。
- ・聴覚障害者がいるから手話がある。国民、議員は勘違いしている。

○職場の理解、勤務先での対応 4件

- ・やりたい仕事の募集があっても聞こえないということがネックになってしまう。聴覚は、言っていることがわかれば仕事ができる人が多いと思ひ。ある会社では音声読み上げソフトを導入し障害者も会議に参加しているという。ちょっとした工夫で可能になるのだから聴覚障害者を試してほしい。
- ・聴覚障害者の集まりの建物(おんせんなど)。会社内、聞こえないと受けない資格がある。差別感がある。リーダーになりたくても、周りの人にコミュニケーションがとれないから、リーダーの仕事をくれないとか。
- ・人間関係について。仕事場でコミュニケーション取れない。聞き違いが多い。
- ・現在働いている施設で月一回でもいいから手話教室を開いてほしい。慣れてきたら少しずつ手話を教える数を増やしていきたいと思ひ。

○情報提供施設設置への要望 4件

- ・1日でも早く情報支援施設を設置してほしい。

- ・名古屋だけでなく、日進市に難聴者が集える場所がほしい。
- ・愛知県にろう者の施設がほしい。
- ・手話で話せる場が家の近くに欲しい。一人になるのが不安。ろう者同士でいつでも話ができる場所がほしい。

○子育て環境 4件

- ・普段から仕事、子育てに忙しく余裕がない。
- ・親の立場になって不便なことが多い。例えば、子どもが夜中体調が悪くなったら小児救急電話相談#8000 等電話でしか対応できないことが多い。インターネットでも見れるが、リアルなやりとりで安心感が欲しい(LINE やテレビ電話などで対応してほしい)そういう意味では青年期以降の聴覚障がい者に対する支援が手厚くないように感じる。
- ・子供の学校(保育園)に必要な情報(参観日、面談、行事など)を付けてほしい。(例えばわざわざ自分で申し込む(手話通訳者派遣))
- ・子供と一緒に遊べる場所を増やしたい。

○情報保障の依頼手続き 3件

- ・仕事の研修でも、手話通訳を付けてほしいとお願いしてはいたが、職場の人に勝手に情報保障の手段(主に手話通訳・職員によるボランティアで要約筆記の2つ)を決められる。そのことが少し不満でならない。なぜ相談もなしで勝手に進めてしまうのか。まだまだ情報保障や法律の内容(合理的配慮)などを知らない人が多いと感じた。
- ・地域の集まりにがんばって参加するが、食事会の時は通訳派遣ができないので、一人ぼっちになったことがあった。
- ・最近、妻が亡くなり、ほとんど頼っていたため、今、いろいろな生活面で困ることが多い。それから、通訳派遣を急に頼みたい時に、前もって予約が必要だから、面倒だ。

○テレビ電話・字幕への要望 3件

- ・三河八橋駅と若林駅の切符を買う為、テレビ電話か、字幕をつけて欲しいです。
- ・若林駅、三河八橋駅、豊田市駅にテレビ電話を設置してほしい。
- ・民生委員と近所の知人は、手話が増えて欲しい。

○日常の困りごと 3件

- ・突然病院に行っても手話通訳がない。筆談では通じない。

- ・電車が止まった時情報が欲しい。
- ・スーパーで倒れた時に周りの人とのコミュニケーションに困った。

○健康について 2件

- ・病気が心配(自分も主人も)
- ・持病があるため、毎日服薬が必要であるが、飲み忘れが多くみられる。そのことに本人は気づいていない。通院は通訳者が連携を取り合い、支援をしているために保たれている状況。

○ろう重複聴覚障害者について 3件

- ・[重複障害者本人とその家族へのサポートについて] ・聴覚障害+知的障害(自閉症など) ・重複障害者へのサポートは単なる聴覚障害者へのサポートと比べてその難易度はかなり高いと思う。その為に、①重複障害者に対応するスタッフの育成強化 ②重複障害者を抱える家族に対する支援の強化
 - a) 障害を持つ子供とどのように向き合うか深い悩みにひとり悩む親が多くいる。親の悩みをきき的確なアドバイスをする仕組みが必要ではないか。現状は親同士が時々集まって意見交換をやっているが公的機関の支援も求められる。
 - b) 障害を持つ子供の日常の介護で相当疲弊している親・兄弟も多い。年に数日でもよいから親・兄弟をその負担から解放してあげるような仕組み(レスパイト)について公的機関の支援もぜひ検討してほしい。現在お世話になっている施設は本当によくやっただいていてくれるため、頭の下がる思だが、組織体制・人員から見るとなかなかこれ以上お願いしづらいのが現実。こうした現実他施設でも多かれ少なかれ共通している事柄ではないかと思う。協会におかれてましては多くの声をとりまとめていただき、行政へつなげていただき現状の改善に少しでも向かっていけるようご尽力いただきたく願う次第です。
- ・(親より)今は作業所で働いている。本人に合った働き口があるといいがなかなかない。今は重度知的障害の人が多い作業所なため、なかなか成長できず。コミュニケーションがうまくとれない人と働いているため不安。
- ・犬山に盲ろう者が通える施設があったら行きたい。犬山は身体障害者の施設があるが、盲ろう者がいないので通っていない。

○難聴者へのサポート 3件

- ・ほとんどの中途障害者は思っていると思うが、難聴であることを伝えられない。なぜか、何度も聞き返すと嫌な顔をされたり溜息をつかれる。そして「もういいわ」と言われる。こういわれるのが怖くて難聴を隠したり聞こえたふ

りをしてしまう。難聴と伝えたからと言ってうまくコミュニケーションが取れるとは思わない。実際に難聴を伝えても全く配慮なしに話す人がいるから、いやな顔をされると難聴であることが悪い事のように思える。

- 公共施設で聴覚障害のためのループとかいろいろ工夫してくれるが、補聴器によって使える、使えないがある。すべての聴覚障害の人に使えるものを置いてほしい。
- 医者や福祉事務所の職員が、軽度・中度の難聴の存在を知らない。

○手話への理解・関心への希望 3件

- テレビなどで手話を使う場面を見ない。もっと手話を覚える人がいたら良いと思う。
- 愛知県すべての小学校に「手話体験教室」を必須としてほしい。愛知県全ての人聞きこえないことについて理解できると大きく良い方向に変わると思う。ほっとくるは遠い。春日井に施設をつくってほしい。瀬戸や小牧からも集まりやすい（東尾張ブロックの中心は春日井だと考えている。）。近くにあるのは高齢者のデイサービスなので気軽に利用できない。
- 誰でも気軽に集まれる場が必要（可能であれば5箇所に限らずたくさんつくってほしい。

○盲ろう者への理解啓発・施設建設 3件

- 盲ろう者の啓発をもっとしてほしい。色々な文化講座（AT講座や料理講座など）が開かれているが、全盲ろう者対象の講座ではないので、参加できない。身近なことを簡単に盲ろう者も学べるような講座をもっと開催してほしい。テレビに字幕デコーダーがあるように、点訳装置があるといいと思う。自立を尊重してもらえそうな支援サービスを充実させてほしい。
- 子供がろう重複ですので、休日（土、日、祝日）でもろう者用施設（あずけることができる）等を地元で立ち上げて欲しいです。
- 犬山に盲ろう者が通える施設があったら行きたい。犬山は身体障害者の施設があるが、盲ろう者がいないので通っていない。

○NPOつくしへの期待 2件

- 「NPOつくし」が益々発展することを祈念する。
- NPO法人つくしの活動に感謝している。今後のことでは課題多く、親は疲弊しており自力では立ちゆかないと思えることがあるから。

○家族との関係 2件

- 弟の会話もないがずっと我慢している。あまり関わらないようにしている。弟を怒らせないように気を使っている。手話で話せる友達がもっと欲しい。コーヒーに行ったり買い物したりゆっくり話せる友達が良い。手話で相談できる人が近くに欲しい。
- 母とのコミュニケーションが取れない。

○緊急時のサポート 2件

- 夫が倒れた時にどうしていいかわからない。情報が欲しい。
- 字幕入りの AED を全国的に普及させてほしい。

○電話リレーサービス 2件

- 電話リレーサービスをもっと規模の大きいものにし、即時対応出来る様な環境が欲しい。
- 「電話リレー」という代理電話があるのですが、新システムに代わってから。0120 から始まる電話など指定された番号にかけられないことがあります。番号に関わらず、使えるようになってほしいなあと思います。

○行政の対応、障害者手帳の交付手続き 2件

- 行政の人達は、身近に障害者がいないから障害者の立場やその家族のことなど何もわからない。どんどん厳しい世の中になっている。
- 障害者手帳の取得が難しかった。

○社会福祉制度 2件

- 社会のあらゆる制度。死ぬまでの生計など。病気もちで大変不安
- 病気持ちの配偶者の介護。今後を考えるだけでも不安。家のことすべて私任せでいろいろ考えてしまう。知らないこともいっぱいある。社会の制度や税金問題など…。持っているマンションを死後どのように娘に譲るのか？色々。

○健聴者との手話コミュニケーション 2件

- 聴こえる人とも手話でコミュニケーションをとりたい。
- 難聴者、ろうでも話せば聞こえてる(そこまで重くない)と思われる健聴者が多く、そうでないことに理解してもらうことが難しい。そのため、筆談をお願いしてもしてくれなかったり、相手の求めていることに対応しようと歩

み寄ってくれないので、あいまいなままで終わることもある。お互いが気持ちよくコミができる社会であってほしい。

○難聴者・中途失聴者の交流の場 2件

- ・難聴者用の手話教室が市にないので作ってほしい。
- ・中途失聴者のコミュニティが少なすぎる。
手話サークルの高齢化が進みすぎて、難聴同士でも情報共有に乏しい。・難聴以外の障害や病気を伴う場合、説明や理解がさらに困難になる。

○重複聴覚障害児の子育て 2件

- ・母親より：本人(娘)は知的も入っています。療育C(程度)。現在、病院、役所手続きはほとんど付き添い兼通訳、解説をしています。自分の病歴、学歴、状況などを自分から順序立てて相手に通じるように説明することはできません。「ことば」は分かっても、その背景、意味することは分かりません。例えば、問7住まい～の民間・県営などの意味。重複の場合は、一般の手話通訳者ではなく、それ以上のサポートが必要だと思います。
- ・家族に介護を要する祖父母がいるため、遠方の施設に聴覚障害と自閉症の息子を送迎しているが、日程の都合で一週間に2日しか通わせれない。以前、行動援護で近隣のスポーツジムや図書館へ出かけていたがコミュニケーションがうまくとれず支援者にケガをさせてしまい断られた。家事援助でも離れた場所から見守るのみのため家族が息子のそばに居てコミュニケーションをとっていた。地元の福祉事務所からは事業所の一覧表の提供はあるが、聴覚障害に対応できる事業所を把握できるものではない。親も高齢となってきたおり、いつまで遠方の事業所まで息子を通わせることができるか気がかりだ。近くに施設ができ、人材が確保できるよう切に望む次第です。

○病院について 2件

- ・病院まで徒歩で行かなくてはいけない。少し遠い。
- ・病院に手話ができるひとが一人ぐらいはいてほしい。

<その他>

- ・現在の手話サークルに通っている健聴者の手話が私たちろう者並み上達し、語り合えたらと思うが、なかなか進んでいないのが現状。

- 本人様の話の中で、死後の連絡・お寺等不安を抱えているという内容が出ました。他にもたくさんあるようだが、どう話したらいいのかわからないようだ。(頭の中でわかっている、口でどう話せばよいのか…)
- ほとんどドラマは字幕が出るようになったが、ニュースはかなり遅れて字幕が出る。また、CMは字幕が出ないので、同時に字幕が出ればもっと楽しめる。
- 様々な場面で手話や筆談などをしてくださっていることがとてもありがたい。嬉しい。
- 人工内耳に対する情報が少なすぎる。しかも、補聴器と違い、部品がかなりの高額だし、本体が高いのだから、いろいろな情報がほしい。
- ほかの障害の方も同じだが、好きでこんな風になったわけじゃない。何も障害のない人だって、いつ事故や病気になって不自由な体になるかもしれない、そういうことを思って障害者にもっと寄り添ってほしいなと思う。
- 普通学校出身だが、聴覚障害者や同じ年代とのかかわり等が全くなかったため、かかわりができる場所を作ってほしい。そういった情報を行政広報誌に積極的に掲載してもらうように働きかけてほしい。また、幼年少のときから聴覚障害児者とかかわる機会を作ったり、手話に触れる環境を整えてほしい。
- 愛知県内には、いろんな協会や団体があるので、これを機会に互いの情報交換などで連携をとって障害者全体をよくしてほしい（よくなってほしい）。障害者に対する配慮がよくなれば、高齢者の方にも優しい街・市になれるのではと思う。
- 職業訓練の場を作ってほしい。
- 聞こえない人と聞こえる人との「共生」の工夫にも力を入れてほしいと思います。「聞こえない人が何に困っているのか」がわからないことが多い。「聞こえる人の理解が足りない」と一方的に思い込んだり、決めつける前に、「なぜそう感じるのか」「どうしたら理解してもらえるのか」を深く考え、その解決方法を見つけることも大切だと思います。
- 私は、小～現在（大学4年）まで、聴者と同じように暮らしてきた。通っていた学校には、難聴学級がなかったため、同じ障害を持った人がいなかった。ひとりぼっちだった。また、普通学級だと声だけで授業を進めるので、理解するまでに時間がかかることがあった。要望としては、むずかしいことかもしれないが、難聴学級を増やしてほしい。もしくは、一般学校に通う難聴者ろう者に対する情報保障を付けていくべきだと思う。デフリンピックを広める活動をしたい。
- 白内障は手術で次第に見えるようになってきた。人工内耳も同じように聞き取れる迄進歩させてほしい。

- ろう者のバスツアーがあるといい。
- 将棋などの大会ができるようろう者の集まりが身近にあるといい。
- 歩行困難の為送迎付きのリハビリに通っていますが重度難聴者は 20 人中 1 人だけですから話の輪に入れない。肢体障害者には手取り足取りで助かっている様子を見るにつけ声のバリアフリーはまだまだ遠い。
- 幼少期、家族（健聴者）と話が通じない、わからないため、なぜ 11 歳まで学校へ入っていなかったのか？理由もわからない。
- 若い人とも交流を深められる機会が欲しい。
- 聴覚障がい者だが、手話は全くわからない。相手が筆談で示した内容に対し、音声で話すという方法で会話をする。自分は脳梗塞の後遺症で右手に少しマヒがあるため、筆談できない。本当に対話が困難である。
- 人生に疲れた。差別が大きすぎます。
- 公共の様々なスーパー、量販店、喫茶店、コンビニなど聴覚障害者が利用しやすいお店で耳が聞こえないことを示すサインをはじめに伝えることが一番大切な事です。買い物や注文の会計の時にありがとうの手話など健聴の従業員がそれだけの手話を使ってくれる人が増えてほしい。聾者にとってうれしいし、意思疎通としてとても伝わりやすい。
- ホームヘルパー 2 級 1 級認定を受けた聴覚障害者がいることを世間に報せて、仕事を与えたほうが私達にも情報が入ると思います。今のところ、2 級 1 級認定のみになってしまっているのではなかなか情報が入らないので・・・
- 仕事面に関して医療現場などで特殊なところと一般的な仕事とは困難さが違う。(どちらも経験あり)特に医療現場においては働きやすい環境に整っていない長く働いていけば少しずつ改善していくと思われるが、それまでの道のりがとても大変である。(かなりのストレスとの戦いになる)
- 最初に私の両耳が突然聞こえなくなった現状を書きます。平成 23 年 9 月 17 日突発性難聴 9 月 20 日近くの総合病院に点滴を受けるため入院 15 日間少しも良くなりません。それ以後、2 つの大学病院、その他個人医 10 箇所位診察を受けました。これは治らない理由は分らない。こんな医者では困るのです。眼科の場合白内障は手術で良く見えるようになったのはどうして耳はできないかと耳科の医者にきいたら、私が耳が聞こえないのに声で言っている、不信感大。補聴器に時間と金をかけているがデイサービス等でコミュニケーションがとれない。テレビの音をとなり近辺のめいわくにならない位に大きくしても、ことば、歌、ドラマはさっぱり人間が声を出している音より分らない。電話の話声はさっぱり意味が分からず私は今までに 100 回位となりつけてやりました。もう今では、市役所の午後 2 時すぎの安否確認で

ハイ、ハイと返事(水曜日のみ)するだけです。まだ色々と有りますが、私は表現が下手ですので、また次の機会にお願い致します。

- 以前(母と一緒に小学校の頃)熱田に補聴器の修理等に行ったことはあるが、今は行っていない。消防署の職員(サークル40周年の講演者)と息子が友人なので、情報もらうこともある。妻は運転しない。孫(中2、小6)の行事に行かない。孫たちが何を話しているのかわからないから。いるかの家なくなる?活動ができなくなる。情報どうする?
- 時代とともに、アナログからデジタルに変わりつつ、物も値上がりし、助成金が変わらないままは不公平に思い、助成金を見直してほしいと思います。
- 名古屋市在住の人は水道や公営交通料金の減免制度があるので不公平を感じる。
- TV字幕をもう少し小さくしてほしい。(画が見えないときがある。)
- 近くの病院に手話通訳者を置いてほしい。4年まえに畑をやめた。弟がいるので助けてほしいところをお願いしている。緊急時は、近所の人が弟のところに電話をしてくれる。
- 結婚は親に決められた相手と結婚した。
- 両親は自分(子ども)が聞こえないことを近所の人に知られたくなかったため、来客があると押し入れに隠れていた。
- 税金、不動産の関係でわかりやすい説明会を開いてほしい。銀行機関の時間延ばしてほしい。(閉店時間早すぎる)
- 契約解除の手続き(インターネット)の営業時間を延ばしてほしい。
- 大府市の小学校に難聴学級を作してほしい。
- セントレアのところにカジノができてほしい。(毎日パチンコに行っていて好きだから)
- 金がものをいう世の中という感じ。
- パソコンは買うまではていねいで親切。いったん買ったなら知らんワイ式・日常生活の用具を申請して設置するまではていねい親切。いったん購入したら不具合が生じてても知らんワイ式。・ケータイ会社も買いかえまでは親切ていねい。一たん買ったならええ加減。アフターサービスに欠ける。金もうけしか頭にないのか。・補聴器屋もメガネ屋もそうだ。正直者はバカばっか見るように出来ている。ろう協に入っているけどあまりメリットがないように思うことがある。信頼関係が大切だと思う。
- I Love you
- 銀行や郵便などATMの操作でトラブルが起きた時、音声での説明しかなく営業時間以外の時は困る。

- ドライブスルーを利用する時は、マイクでしかやり取りをしない内容が分からない。手話で対応してもらう為に画像を付けてほしい。
- タクシーを呼びたいとき、ネットで見つけても電話でしか対応できないので探すのが大変です。探しても見つからないときは仕方ないので歩いて帰る時もありました。
- 銀行や病院など「耳の不自由な方は筆談しますのでお申し出下さい。」とマークを提示しているのに、なかなか筆談してくれない時もありました。
- なかなか昇格できない。長く働いていても、自分より短く働いている人が上になっていくことが多い。
- 交通の便利な所がほしい。
- 車の聴覚障害者マークが要るか疑問である。
- 何が不安なのかよくわからない。今まで困ったことはない。
- プライベートで犬のしつけ教室、ヨガ etc、手話通訳者も同行ができればいいなと思っているんですが、、、講師から、手話通訳者が受講代を払わず、聞き得でずるいと思われるのではないかと気になります。(一度ハワイアンキルト教室で手話通訳者を呼んだことがあります)
- 聴覚障害者にとって、現在は、インターネットをはじめ、必要な情報が入手しやすい環境も増えてきています。自分が生きるために必要な知恵、情報の収集方法を学ぶ、練習する場も増やすことが有効だと思います。人的資源、コスト面、ハード面など、様々な課題は山積みかと思いますが、優先順位を的確に見定めて1つ1つ目的を達成、問題解決されていくことを願います。
- 1か月に1回、地域の聴こえない人の集まるサロンは楽しみです。
- 老若やら貧富やらで、聴覚障害者の中でも違いは大きかったりするわけだが、セーフティネット的に組織を考えると、ハイレベルグループでは属する意味がスポーツぐらいにしかない。聴覚障害2級、夫婦共、子3人にしたら年金だけで300万くらいになる。夫が一流企業で700~850、860万円の年収があるから世帯年収1000~1500は少なくはないと思う。その中で上昇指向を持つ聴覚障害者が望むコト、モノ、コネはどうすれば手に入るのだろうか。ハイレベル(セレブリティ)な聴覚障害者グループの発生は障害を持つ子の親にも希望にならないかなと考える。
- 福祉教育がおざなりにされると、今の世の中の障害者を殺した方が良いという風潮が大きくなるのではと心配です。
- 微力ながら耳マークバッチをつけるなどして、地道な活動で市民の方に少しでも浸透できると良いです。
- 研修のお知らせに、TELだけでなくFAXを記入してほしい。
- 今後、一般のレストランと喫茶(飲食の関係)に入りたいです。

- 交通機関に電光掲示板をつけてほしい。(バス、電車等)
- この前、友人とご飯を食べる機会がありました。トラブルがあり、予約した時間に行けなくなり、どうしようとパニックでした。キャンセルとできれば時間がずらせたらと思いましたが、インターネットで予約したので、当日のキャンセルは電話対応しかできないだろうと困りました。その時、友人が「電話リレー」というサービスを使おうと話しました。第三者に伝えて欲しいことを伝えてもらうサービスだと初めて知りました。お店と連絡が取れた結果、時間変更が可能となりました。おかげで楽しいご飯の時間となりました。何が言いたいかというと、こういうサービスがあることをもっと広まってほしいなあ、と思いました。これからは障害者や妊婦、高齢者、難病者、子供など社会的に弱い立場の人が生きやすい社会になるといいなと思います。
- 生活に必要な情報を身近な家族にのみ依存しがちで、負担が偏る。
- 自宅にFAXがないが、まだまだEメールで利用できる福祉サービスが少ない。
- 旧優生保護法の件について。話は知っているが、自分はない。正しい情報はなかった。友達にも数人いた。結婚する時血液検査などをして断られたこともある(説明もなく検査した)
- 現在、福祉が高めになり、幸せです。
- よく行っているスーパーで野菜を買うことをジェスチャーでお願いをした。快く職員が応じてくれた。そのお店はジェスチャーで通じるがほかのお店は冷たい対応なので帰った。ほかのスーパーに行くときは笑顔で対応してほしい。
- 電車の事故あった時駅員は忙しそうにしてあまり事故のことを尋ねることできなくて困ったことありました。小学生の時1人で学校まで通っていた時に間違えて電車をのってしまっただけで困って人に尋ねてやさしく教えてもらったこともありました。小学生の時に電話にしたいのに人々との尋ねることできなくて困ったことありました。駅員に手話を使えますとか誰も利用しやすい。一人で学校を使う人も利用しやすいようにできたらと思います。小学生・ろう者の老人は字を読めない・目が見えにくいことあり、電車をどこに乗れるか、どこに移動すればいいのか報告されてない。なので一人二人で残されてる場合もあります。その時はわかりやすく報告してほしいです。私の時はどこに電車に乗ればいいのか困ったことはありましたが、聞こえる人々との真似して電車までついて行って乗れました。前の時電車事故→人身自殺？事故？で3時間閉じ込められたことがありました。その時は私たち4人は何があったのか全く分からなくて困ったことありました。2人が聞こえる人々との話し、青いシートでかくれた膨らみ具合で人がはねられて事故し

たって知りました。その時はいつ電車を動くか知らないままでわからない情報知らせてない様子で困りました。電車が動いたその時で動くことを知りました。何かあった時に電車の中で報告欲しいです。紙をかいてドアに張ったり電子看板に流れたり欲しいです。

- 病気のことについて、相談した聴覚障害者団体の人から「努力をしてもどうにもならない」と言われた。脊髄側弯症と腰椎変形症があるため、体操や運動をしてもよくなることはない。一番傷つくことを言われた。不快だった。身長が低いのは病気のせいなのに。高校まで普通学校に通い、聞こえなかったことで能力が劣っている。だから、今からでも学ぶ場を与えてほしい。昭和51、52年に普通学校で学んでいた難聴者と交流したい。昭和の頃は、学校の先生の難聴への理解が無かった。補聴器をつければ聞こえると思っていた。入学式も卒業式も何も聞こえなかった。6級でも。要約筆記もなかった。成人式も何も聞こえなかった。補聴器もポケット型しかなかった。一年遅れているので、成人式にも本当は参加したくなかった。母に強引に勧められて成人式に参加した。楽しくも嬉しくもなかった。高校は本当はろう学校に行きたかった。それかNHK学園通信制。仕事は銀行に一年九カ月。会社の助成金を使って新しい人を入社させるためにいじめられ、やめさせられた。言葉の暴力もあった。支店長に「小学校を本当に卒業したのか？」と言われた。酷すぎる。アルバイトは30歳までやったが、それからは仕事をしたくてもできなかった。本当は定年まで銀行で働きたかった。障害者職業相談センターで女性職員に「がんばって、がんばったんだから、もうがんばらなくていいよ。」と言われた。この言葉がすごくうれしかった。買い物するとき、スーパーなどで遠くから呼ばれていても聞こえない。かすかに声がしているなあ。ってくらいにしか聞こえない。マスクをしている人のところにはいかない。病院では、医者にも看護師にも聴覚障害者への対応を知ってほしい。どのようなときに困るのか。がんばって聞いて、考えているときに次の話をされたり、長い話をされたこともある。この時は、聞き取ることで精いっぱいなので、伝える余裕はない。あつたら言っている。医者はわかろうとしてくれないから言いたくない。後ろから言われたり、遠くから言われたり。工事現場の人たちと話すときは、前歯の無い人の言うことは全くわからなかった。写真や絵でわかるようにしてほしい。耳が悪くてもわかるようにしてほしい。聞き取れないのが嫌で工事現場のないところに遠回りしたこともある。今まで、話したくても話せないままだったので、思いっきり書かせていただいた。本当は60年分の思いがまだまだたくさんある。ラジオ番組で福祉のことや自分が生きてきたことについて話してみたい。社会貢献がしたい。生きてきた使命かな。「コミュニケーション」を使用できるようになって、聞こえるこ

との幸せを感じている。FM 補聴器は、豊橋市のプラット劇場に行けば貸してくれるよ。バスや電車に乗るときには、ヘルプマークをもっていきたいとおもう。

- テレビの字幕が二重になって見えづらい。二重にならないようにしてほしい。
- 補聴器が故障すると困る。手話を覚えろと言われても高齢なので難しい。合図してもらった方が早くわかる。
- 子どものころ、おたふくかぜで右耳が聞こえなくなりました。左耳は正常ですが、静かな場所でなら聞こえるのですが、人が大勢いる場所や雑音の多い場所ではほとんど聞き取れません。全く聞こえないわけではないため、読話・手話等の知識もなく、聞こえない中、ストレスがすごいです。しかし、仕事や近所づきあい等、参加しなければならず、人の輪に入れず、孤独感を日々感じています。そのため、子供のころから精神的に不安定で今もうつ病の薬を飲んでいます。今一番の望みは、気持ちを共有できる仲間に出会えたらと思っています。
- 将来のキャリアのための情報がほしい。
- 目は両手でふさげば体験出来ます。足もケガをすれば歩けない事も分かります。耳は健聴の方が両耳を両手でふさいでも音は多少聞えますから体験は難しいです。これは私が難聴になった時に友人に云われました。耳の不自由な人の苦労は健聴者には理解されません。ショッピングセンターでの騒がしい場所で聞き直した時店員さんにニヤニヤと笑われた事悔しい思いをして耳の障害者は一部なんです。笑い者なんです。
- 4年ごとに開催するオリンピックと並んでパラリンピックに聴障者がいないことは差別ではありませんか？パラリンピックにデフリンピックと合併したらいいと思います。※東京パラリンピックに参加したい聴障者はいるのかもしれない。
- 誰とでも気兼ねなく集まっておしゃべりしたい。
- (調査者より。) ろう協の会議やサークルに参加していない方だったが、これを機に誘うことができた。
- (調査者より。) 配偶者やその親の反対により、手話サークルやろう協の行事に参加できていない様子(家族とのことは楽しそうに話している)。手話で話せる友人が近くにいないため、居場所がないということ。家族への理解を促す必要がある。数年前まで精神疾患で入院されていたことも話された。

2. きこえに障害のある子どもの保護者による自由記述

※個人を特定した文章以外は基本的に原文のまま掲載しました。

<助成金対象の拡大について 全47件>

○人工内耳について 18件

- 人工内耳を10年以上使っていますが、その機種はもう廃盤になるとのこと。新しい機種を買えません。(高額)
- 名古屋市でも人工内耳の助成を検討してください。
- 人工内耳の購入助成(名古屋市)をおねがいしたいです。学校で活発に活動すると、ケーブルは負荷がかかり毎年買い替えが必要となります。
- 汗によるサビや機械本体の故障等で本体の買い替えをしなければならない場合、少しでも援助していただくとありがたいです。よろしくお願ひいたします。
- 人工内耳の買い替え助成の要望を行政にしてほしいです。
- 人工内耳の体外装置の買い替えの助成が名古屋市はないこと!!
- 人工内耳の買い替え助成金。
- 人工内耳の買い替え時に補助金があれば助かります。
- 人工内耳の買い替え時に名古屋では補助がないため、家庭での負担が大きい。
- 人工内耳の買い替え助成をしてほしい。
- 人工内耳、故障した際の補助のお金を出してほしい。
- 人工内耳買い替え時の助成について。現在は個人個人で働きかけているので(行政に対して)補聴器のように買い替え助成が当たり前のようになってほしい。
- 人工内耳の買い替えの費用の助成をお願いしたい。
- 人工内耳も補装具と同じ扱いをしてほしい。
- 人工内耳は高価なものです。特に壊れたときや買い替えをしたいときの負担は大きいです。市町村によって助成に差があります。みんなが助成対象になるとよいと思います。
- 人工内耳も補聴器と同じように修理をしたり、買い替えることがあります。
- 補聴器では聴き取りが出来ないため、人工内耳を使用して学習しているので、同じように認めてもらいたいです。
- 装具も何ごと一回など規定に基づいて補助があるのなら、内耳の買い替えも

補助してほしい。

○電池・充電池について 6件

- 充電池の補助を助成して頂きたいです。
- 人工内耳の電池等の補助。
- 内耳の電池も消耗品だから上限はあってもフォローしてほしい。
- 電池の補助も他県ではあると聞いています。
- 普通学級では様々な周囲の音により電池のヘリも早く、充電をして持たせても一日のうちに一回は最低でも交換しなければなりません。充電池は 365 回充電使用できるように作られてはいますが、使っているうちにだんだんと使用できる時間が短くなっていくため、こちらも毎年買い替えています。
- 人工内耳の充電池代を助成して頂きたいです。1 万 7 千円ほどして、1 年もつかもたないかです。両耳だと 3 万 4 千円ほどして、3 人兄弟の人は年間 10 万以上かかると言っていました。

○ロジャーについて 5件

- ロジャーの全額負担。
- FM 補聴器はすでに販売終了となり、ロジャーが主流となっている現状にもかかわらず、こちらが申請をしても許可していただけないのは、なぜなのでしょう？
- ロジャーを購入したいと思っていましたが、市が厳しいといわれつづけ、ほかの同市の友達は課長さんに頼んでお願いしても許可されなかったという話を聞き、少し頑張ったつもりでいましたが、去年、補聴器を購入するときはあきらめました。聞こえない子にとってはロジャーは嗜好品ではなく、聞こえに対して切実な願いであります。すんなり申請が通る市町村もあればそうでない市町村があるのがおかしい と思います。それがくやしいです。
- ロジャーを活用できる学校がありながら、申請がおりず、自力で購入ということしかできないのは、どうかと思います。
- 我が子がロジャーを活用して聞こえをカバーできたか？はわかりませんが、なんでも試してやってあげたかったです。その点を協会の方で市町村に理解を求めてほしいと思います。

○イヤモールドについて 4件

- 人工内耳のイヤモールドの補助お願いします。親が健聴の場合、親は特に補助金はなく学校が市外の場合、送り迎えや参観などもおおく時間も取られ働けず…まわりの家庭との格差を感じる。

人工内耳のモールドの補助を出して頂きたいです。(鳥取県などでは補助が出ています。)子供の耳には人工内耳は大きすぎて重く、すぐに落としてしまっ、壊してしまいます。修理費用もとても高く、家計への負担になっています。

- 人工内耳の子のイヤーマールドの補助。
- 人工内耳でもイヤーマールドは必要です。子どもは耳の大きさもすぐ変わってしまうので、イヤーマールドの助成をしていただきたい。
- 人工内耳用イヤーマールドを福祉用具に入れてほしい。

○補聴器について 3件

- 補聴器の補助をもっと手厚くしてほしい。機能の高い補聴器を購入したいのに高額な差額を支払わなければならないので。
- 補聴器その他、高すぎ。ばかじゃないの？すぐこわれるし。
- 補聴器の補助も5年に1度。聴力が落ちて重度用を購入したいのに5年たっていないからダメと役場から言われ1年待ってから購入になった。必要なものなのに5年という縛り。言葉を学習している大切な時期なのに。難聴の子供にとってこの1年が大切であったか。もっと理解してほしいです。

○その他 12件

- 軽～中度の補助金制度を充実させてほしい。重度に近い中度だと大変な負担になる。レベルの境を、もっと外国のように緩和してほしい。
- 手帳対象外の軽中度難聴児のための補聴器購入費等の助成を実施してほしいです!!
- 軽度・中等度の子どもの補聴器購入などの支援が自治体によって違うので愛知県すべてで実施してほしい。
- 手帳を持っていなくても、聞こえの状態はさまざまなので、補聴器の支援をお願いしたい。
- 手帳は該当しないが、補聴器が必要な子への助成。
- 役所の方も助成要望に対して何も変わらないですが、もっと維持が大変になることを行政でも取り上げてほしいです。
- 聴覚障害児の身体障害の該当枠がもっと広がると、補聴器などの負担が軽減されると思うので、大人と同一の枠にしないでほしい。補助を充実させてください。
- 他の自治体では補助のあるところもあるので、名古屋でも補助金を出してもらえると助かる。
- 聴覚障害は早期から補聴器をして教育すれば、社会に貢献できる人材に育つ

と思うので、聞こえに必要な補助具（人工内耳など）の負担をしてほしい。

- 自助具に対する補助ももう少しフォローしてほしい。
- 各市で動き始めているところもあるようですが、愛知県として、人工内耳の体外装置も補装具として認可してもらいたいと思います。

<聾学校について 16件>

- 家と学校の移動支援制度があるといいな
- 聾学校もバス送迎とかしてほしい。今のご時世、一人で電車に乗せて遠い聾学校に行かせるのは、犯罪とかに巻き込まれないか心配で仕方ない。（小学校4年生というまだ子供の段階で、自主通学は正直怖い）近くに聾学校があればいいが、...
- ろう学校の送迎。兄弟がいると通いたくても通えない人がでてくるのでは？
- 兄弟にも家に帰っても親がいないなど我慢させることが多い。働いている場合には子どもにも分かってもらえるが、なぜ自分だけが親と一緒にいられないのか…と寂しがる。
- 学校までが遠すぎる。自力通学させたいけどバスとか電車とか不便すぎる。もう少しバスが来てくれるようにしてもらいたい。
- 聾学校が遠い（エリアが広すぎる）。
- 聾学校をもう少し増やしてほしい。遠いと、生活環境によって通いたくても通えなくなってしまう。
- 遠くからろう学校に通うと近所の子供との関わりが持てない。親もPTAなどが地域と別になり、親も地域と疎遠になる。1日でも早く、改善してほしい。人工内耳の子供が増えて、手話を会話の主体としている子が自由時間にポツンとしていたりする姿を見ます。昔と違ってきていてろう学校のあり方も昔と同じやり方で大丈夫なのかなと疑問に思います。
- 幼稚部の給食が細かすぎるのが気になります。嚥下や咀嚼の弱い子は仕方ないかなとは思いますが噛む力がつかないと発育も伸びないのかなと思います。年少が無理なら年中、年長などは具材を大きくして噛む力をつけてあげたいと思う。
- ろう学校でのあずかり時間が短すぎる。運動量が少なく体力がつかないと思う。子供同士の関わりも少なく、親や先生などが間に入るので、言葉の為には必要な事だとは思いますが、考える力や主体性、生きる力などはつかず指示待ちになるのではないかと心配です。
- ろう学校と病院の連携もなく他県の整った環境との差が大き過ぎると感じた。
- インテしてろう学校を出てしまえば聾学校との関係は分断されてしまい情報を得るところが無くなってしまいう現状をどうにか改善してほしい。

- インテをよく思わないろう学校の先生が多く感じた。
- 読み取りができない先生が増える。子どもは語彙力が低いので読解力が要る。先生が。聾学校なのに、手話ができない先生が担任につき通訳もつかない環境が当たり前にある。手話が必要で、ろう学校を選択したのに、この環境は改善してほしい。
- 耳の日の行事があることをろう学校にも流してほしい。

<通常の学校について 10件>

- 普通の小中学校に手話がわかる先生がほしい。
- 地域の学校の教員に、言語以外のコミュニケーション方法(手話等)を勉強する機会を作る。
- 地域の小学校に2年間在籍しました。特別支援学校の教員ほどの専門知識はきたかったです。ロジャーの使用を親子でお願いするも、「大きい声で話せば聞こえる」と使っていてだけなかったり、一生懸命聞いている状態を「普通に聞こえる」と捉えられ、本人が別のことに集中して無意識でいる聴こえない状況を理解してもらえなかったりと大変な思いをしました。
- 学校に1人でいいので先生置いてほしい。相談しやすくしてほしい。
- 今後、人工内耳の普及が増え通常学級へ行く子が増えていく事かと思われます。学校の先生の授業の仕方を通常の子だけでなく、インテグレーションした子にも分かりやすい授業にしていってほしいです。
- 18歳以下の聴覚に障害がある子どもにはロジャーの使用を認めてほしい。現状は重度の子どものみでその他の子どもは医師の意見書を書くなど自治体によってさまざまである。
- 地域や学校によって支援の体制が違っていると感じています。難聴に詳しい先生がいて下さることを望みます。
- 地域の小中学校の先生方への情報共有。まだ理解されてない部分大きい。
- 福祉体験学習で、子ども達に聞こえない世界について体験をする機会を設ける(車イスや視覚だけではなく)。
- 地域の学校にも安心して通えるような環境・資源が欲しい(難聴学校があったとしても専門の先生がいるわけではない)。

<字幕について 9件>

- 日本のアニメやDVDや映画の字幕がもっと普及してほしいです。
- NHKの教育番組はすべてに字幕を付けてほしい。
- NHK for schoolの映像すべてに字幕を付けてほしい(ふりがなつき)。
- とにかく手話に触れる機会を増やしてほしい。

- 一般（健聴）の方々が少しでも手話が使えれば、また、理解すれば、聴覚障害は障害でなくなると思います。
- 映像の横に全文が表示されているだけなので、どの説明なのかわからないし、画面の横では視線の動きが難しいので、テレビのように下に付けてほしい。
- CMにも字幕や、邦楽にも字幕をつけることで、聞こえる子とおなじ情報を届けてほしい。
- 教育番組は特に、ことばを覚えていく段階でいかに言葉に触れる機会を増やせるか、とても大事な時期なので、字幕の早期実現をお願いします。
- 日本の映画でも字幕付きの回があってほしい。

<行政について 7件>

- 行政に相談すらできない状況をどうしたらよいのでしょうか？
- 娘は人工内耳を装用していますが、市役所の福祉課の人から、「人工内耳は装用具ではない！」と言われました。しかしながらその人工内耳を装用することは、健聴者と会話をしたりする上ではとても大切なものなのです。それを理解していただき、装用具ではないとは言ってほしくはありません。
- 保健センターの職員さんには毎回あった健診のたびに、娘の障害の話をしなくてはいけませんでした…申し送りなどはないのでしょうか？
- もっと行政、県の方たちは耳のことを理解すべきである。聞こえにくいことがどれだけ大変でどれだけ努力をしているかを。聾学校の見学をしてみたいかがですか？ 子供だけではなく親の大変さもわかっていただきたいです。
- 保健師も知識のない人が多く、「新生児スクリーニングをパスしているなら問題ない」といわれていた。発達障害が注目されている中で、話せない→発達障害と思われることが多く、聴覚障害の発見が遅れた。
- 市役所に行っても人工内耳の事を知らないで「これは何ですか」など何度も担当が変わるたびに説明をしなくてはいけなくて困る。きちんと知識のある人が窓口に来てくださると時間もかからず助かる。
- 中・軽度難聴に対する制度の見直し。

<障害者手帳について 7件>

- 中等度難聴児にも障害者手帳を与えてください!!
- 義務教育の間だけでもいいので、障害者手帳で使える内容を級に関係なく利用できるようなになると、親としてとても助かります。
- 手帳の等級に関係なくサービスを受けたい。4級であっても（3級に近い）補聴器をつけないと聞こえないのに4級と3級のサービスが違いすぎる。

絶対に健聴の人たちとは平等にはやっていけないのに、、、。せめてサービスくらいは平等に受けて。このままでは将来自立して生きていくのが大変だと思われる。

- 障がい者手帳の基準を見直してほしい。人工内耳ができて数十年たった。低年齢化もすすみ、聞いて話せる人も増えた。手帳申請時の診断書はいまだに裸耳での計測となっている。補聴器の効果なく、内耳の適用できない本当に聞こえない人と聞いて話せる内耳の人が同じ2級であるのは、社会生活における困難さを考えると疑問である。社会保障にかけられる財源も限られているので、そろそろ見直してもよいと思う。
- 視覚障害においては補装具を着けて測るのに、聴覚障害の場合は、人工内耳 etc 外して裸耳で測るのも不公平。聞こえないとどうしても情報が減ります。
- 中程度で補聴器が必要であれば手帳も交付すべきでは。
- 障がい者手帳の件ですが私の子どもは重度で蝸牛も神経もないような状態で聞こえはほとんどありません。本来なら二級程度なのに小学生になるまでできないと、かたくなに病院に断られ、県の方針だと言い、取り合ってもらえませんでした。病院のドクターの一存でそれも決まるしまたその判定をしてもらえる病院も少なく涙をのみました。また、人工内耳の人は聞こえも話もできるのに神経を切っているのですぐに二級になり聞こえが全くなく理解がしづらく検査もうまく飲み込めないといけないから駄目だと言われたり、いったい何十年前の制度なのかと不満に思います。内耳装着の聴力も考慮して障害の等級も考えるべきだと思います。時代は変わりました。今一度見直しをお願いします。。。とまっていることをどこにぶつけたらいいのかわからない。

<教育の場の選択について 6件>

- 入学する際、普通学級がいいのか通級か難聴クラスを立ち上げてもらうのかもものすごく悩みました。全く聞こえていない訳ではないので耳鼻科の先生、幼稚園の先生からは普通でいいのでは…とアドバイス。専門の方や就学相談の方はやはり、言葉の遅れ、それに付随する色々なことがやはり遅れているので支援クラスが手厚い…。結局難聴クラスを立ち上げて頂いたものの決定してから冬の間子どもも3ヶ月、半年でかなり成長しお友達と離れるのはイヤだ！一緒がいい！と色々分かってきたようでかなり辛かったです。お友達と遊ぶのが大好きで本音を言えば何故インクルーシブと言われていてもまだ、皆の中で共に学ぶことが出来ない。教育はもちろん勉強だけではないはずで、今後の人間関係、コミュニケーションを考えるとやはり1対1ではなく同じクラスで支援級のような先生について頂き過保護になることなく

その子に必要な支援をして頂きたいと切に願います。よくネットでは支援級→普通級にはなかなかない、とか、やはりついていけないから支援級に…というのは絶対出来ない等目にするときがあります。でも、やってみてやはり違ったかも…というのはあるはずで、やってみて初めてわかる…という事もあると思うのです。教育はもっと柔軟に色々な道が開けるようにして頂きたいと思います。私の子どもで言えば、補聴器をつければ（3歳～つけ始める）殆ど聞こえるようです。だとすれば将来はきっと90%くらい聞こえる人達と接する人生が多いのだろうと推測するのです。だからこそ、今から、本当は色々な人と接し、挫折し、助けてもらい、ともに笑い共に泣く…という環境が必要だと、そう思いながらも難聴クラスを立ち上げてもらい支援級にいる…この矛盾に果たしてこの選択は合っていたのか未だ心が揺れている状態です。インクルーシブ教育が整備されて迷うことなく光がスーッと入ってくるのになと思う毎日です。

- 高校進学にあたって、もっと情報が欲しい。
- 子育てをするうえで、保育園→小学校→中学校→高校と進学をしております。保育園、小学校、中学校は地元の学校へ進学することができました。でも、中学校から高校へ進学するときに個別相談という形ご相談をさせていただいたときに何校かの学校に「今までそのようなお子様を受け入れたことがないので、、、」という理由で断られました。聞こえの状況や配慮も含めて多少ですが学校側に負担がかかることは理解できますが子供の状態を見て本当に受け入れが難しいのか判断をしてほしいと思います。聴覚障害というだけで、最初から見ようとしてもしないで受け入れはできないと決めつけることはしてほしくないと感じました。子どもに無理は禁物ですが、子どもにあった学校へ進学できるシステムがあればいいなと思います。
- 小学校、中学校は、ろう学校又は難聴学級又は一般の学校から選択ができるが、高校はろう学校か一般かの二択になるのですが、人工内耳装用のわが子は、ろう学校では手厚すぎ、一般では厳しいので、進路が不安。一般の高校でも、ある程度の配慮を義務付けてほしい。（ロジャーの使用など。）
- 高校受験時の配慮や進学時の支援について柔軟に対応して頂きたいです。
- 高校受験、大学受験などの時の聴覚障害者に対する配慮。特に英語のリスニングに関しては公立と私立で対応が異なったり、現在だと60 dB以上で免除などの措置があるが中等度難聴では40~50 dBの人でも不利となるため、考慮して欲しい。

<療育の場について 6件>

- ろう学校へ通わない、地域で暮らす、人工内耳装用児・者の早期からの支援

ができるような体制を期待します。聴覚障がい児の発音練習ができる施設を作ってほしいです。

- 日本語を教えてもらえる場が欲しい。
- 手話で学習を教えてくれる塾が欲しい。
- あいち小児保健医療総合センターは人工内耳児童の言語訓練の受け入ればかりで補聴器装用児の言語訓練を受け入れてくれる施設が無くて途方に暮れた。
- 早期訓練、学習、療育が大事と言われる中で愛知県へ引っ越してきてから行き場をなくした。言語訓練を受けたくても受けられなくなった。信頼できる所がない。
- 中程度の子への支援・療育の充実。中程度の場合、重度の子に比べ訓練や対応が疎かにされがちと感ずます。健聴とろうの間で、中程度ならではの問題や必要な支援があると思いますが、その受け皿や専門知識のある ST、施設がとにかく少ないというか全くない。

<難聴学級について 5件>

- 東区の小学校→西区の中学校。このおかしなところを早急に改善してほしい。
- 難聴学級が少ないため、遠くまで通うことになったり、難聴学級に通うことができないことがあるので、難聴学級を増やしてもらえたらと思う。
- ろう学校、全教室にエアコンをつけてください。
- 特別支援学級(難聴級)に通っていますが、専門の先生が担任にならず、何の知識も経験もない人が担任になるので、困ります。難聴級があると、通級で、ろう学校の先生の指導が受けられません。近所の学校の特別支援級に通う子供も、ろう学校に通う子供も、難聴に詳しい専門の先生が担任について欲しいです。きちんと学習保障をして頂きたいです。
- 難聴学級の普及

<放課後等デイサービスについて 5件>

- 放課後デイサービスの充実、移動支援の充実
- 放課後デイサービス、一宮も建ててほしい。
- 医療ケア児を受け入れてくれる児童発達支援や放課後デイサービスがあるといいな。
- 聴覚障害+歩ける+医療ケアというのはデイサービス(児童発達支援・放課後デイ)がほぼ入れない。医ケアがあると看護師常駐が必要。歩けると重症心身が取れないので看護師がいる重身デイには入れない。自主通学ができるまでは、保護者が学校までの送迎が必要。ほかの支援学校に通っている保護

者の方より母親の就労は低い。上記の児が通えるサービスがあると助かります。

- 岡山県には「KIDS FIRST 児童発達支援事業放課後等デイサービス」という素晴らしい施設がある。ぜひとも同じような支援事業を愛知県のブロック各所で早期に立ち上げてほしいです。

<教育委員会について 5件>

- まだまだ弱者のよわい社会であり教育者全員の認識が乏しいことが、教育を受けるものに影響を与えていることを行政、教育委員会が知ってほしい。
- 学校教育課の方に、地元小学校への見学など申し込みをしたにもかかわらず、連絡しますといわれたきり、連絡すらもらえないのはなぜでしょうか？
- 教師の手話力を上げてほしい。同時に、力がつくまで待てないので、学校にも通訳を派遣してほしい。（要望がある場合）
- 通級指導の聾学校が一年間だけ変わったことがあった。理由を聞くと県の方針ということだったので、（県は）こどものことを分かってもらえていないと感じた。
- 通級だけでは必要な情報を得られず通級の先生方も地域の健聴者の学校との壁を大きく感じられていた。たがいに寄り添い理解ある学校にしてほしい。普通クラスで頑張っている子どもたちには現在私共の子（聾学校）たちが得られている情報が届いていないのではないかと、思うと何かできることを見つけたい。

<手話の普及について 5件>

- ろう学校に通う親に手話を教えて頂きたい。
- 住んでいる市では、夏休みに子供（健常児）対象に手話教室が行われたり、大人向け手話講座があり、ありがたく思っています。学校でも少しずつクラスで取り入れてもらい、子供たちの身近に手話や難聴に対する理解が得られたらいいなと思います。
- 幼いころから英才教育をするような感覚で、手話も一般校で得ていけたら、自然に身につくのではないのでしょうか。
- ベビーサインがあるように、手話も大切です。「手話」という言語が多くの人に知れわたるよう、お願いします。
- 親が手話を学べる場が欲しい。

<社会の理解について 5件>

- 補聴器を付けたからと言って健聴者と同じように聞こえているわけではない

- ので、もっとたくさんの人にそのことをわかっていただけたら嬉しいです。
- ただ、社会に出てれば、無理解な世界が待っているのだから、そこで生きていくために、理解を求めるだけでなく、障害者自身が発言、発信できる力も必要だと思う。そのためにどうすべきか……。親としては、「社会の厳しさ」を伝えていくことで、自分アピールスキルを身に着けるよう、ことあるごとに話すしかないのか、と悩んでいる。
 - 聴覚障害はなかなか現実社会ではまだまだ理解されていない障害の一つであると思います。手話もそうですが、どの障害も同じですが、もっと世の中の受け入れがあると助かりますね…。難しいのも理解できますが、我が子が聴覚障害になり、自分自身も気が付かされたことがたくさんありました。当事者にならないとわからないことはたくさんあると思いますが、たくさんの方にかかわっていける環境が整うと嬉しいです。
 - 障害者差別解消法まだまだなので全国理解し、差別をなくしてほしいです。
 - 地域で福祉実施教室を行いますが、「聞こえない体験」ではなく、手話が中心となっています。「楽しかったね」という体験で終わってしまうのは大変残念です。困りごとに寄り添える教員、大人、環境の改革を切望します。

<センターについて 4件>

- 尾張地区（学校があるから一宮かな？）にも分所があるとよいと思う。
- 限られた資源（金）です。愛知聴覚障害者センターの「箱物」設置にお金をかけても利用できる人は近くの方だけです。（施設から遠い人）全体にメリットのあるシステム作りにお金をかけて下さい。部屋数が少ない、暗い等の理由で無駄にお金を使わないで下さい。手話を介してのやり取りでもokです。通いやすい近くに相談できる窓口があれば、気軽に利用できます。一部の人がしか利用できなければ施設にお金はかけないで下さい。
- あいち聴覚障害者センターの場所がとても行きづらい。こどもは目と耳に障がいがあり、駅から遠く利用できるようになるのか不安。また、中は段差が多く危険だなと感じました。栄の地下など直結がいい。
- 他県のセンターと比べても愛知県が力を入れていないことが明白でとても残念。

<情報提供について 3件>

- 年齢に応じて、知りたいことが異なる。親の会に入っている、欲しい情報はない。又、障害も様々で、一括りで「こうです」といわれても有効な情報とはならない。
- 難聴の親は一部を除いてろう者や協会とかけ離れており接点がない。

- ・(新スクについて)検査することだけに視点を置かず、その後のフォローや、情報提供にまで、幅広く支援をする(特に医療機関)。

<保護者支援 2件>

- ・聴覚障害に限らず、障害を持つ子の親(母)は負担が負い。障害のための特別支援や教育はすべて家庭以外のところでできて、家では普通に母親としてだけ接することのできる環境が望ましい。
- ・障害者差別解消法で障害者本人だけでなく、関わる親も助けてほしい。

<本実態調査について 8件>

- ・学校が回収する際のプライバシーへの配慮が足りないと思います。
- ・調査の手法としてどうかと思います。
- ・このアンケートは障害を差別だと思っているのでしょうか?意味がよくわかりません。子どもがたまたま耳が聞こえないだけで子育てには何も変わらないです。確かに色々手はかかるけどそれで兄弟に手をかける時間が減ることはないです。同じ子どもです。子どもは質問には答えません。必要性が分かりません。わが子はたぶん理解できないと思います。
- ・普通の学校の先生が障害について少しでも知識を持って聴覚障害児に接する事が出来るようになっていく様に冊子などがあると良いと思います。
- ・アンケートを取って終わりにしないで頂きたいです。
- ・調査後、集計結果をどのようにして知りますか。文面で学校に知らせておいてくださると助かります。
- ・とても良いアンケートでした。集計した調査結果はぜひ教えていただきたいです!!
- ・こういった集計等大変なご苦勞をなさって作業をしてくださっていることをお察しします。いつもありがとうございます。みんなが共生しやすい社会になることを願っております。

<その他>

- ・最近子供が大会の帰りに新幹線自由席で帰りました。何分に名駅着とは知っていて、いつも間近になったらメールで確認します。乗ってすぐ疲れて眠たいとメールが来て、ちょっと心配になりましたがやはり乗り過ごしてしまいました。JRに電話をして耳の聞こえない、服装荷物 etc を伝えて、探してほしいとお願いしましたが、車内放送しかできないといわれました。耳が聞こえないから聞こえません。探してほしいといいましたが席がわからないと無理、といわれました。京都駅近くでメールが来てよかったのですが。JRと

しては寝ている人を起こして探すのは無理といわれましたが、今後何か対策をお願いできないものかと思います。我が家も、自由席の何号車、何席を最初に聞くようにしました。本当に、九州まで行ってしまったら、どうしようか心配で仕方ありませんでした。（夜の電車だったので）

- 手帳がなくても聾学校在籍の証明で高校卒業後就職（障害者枠で）できるようにしてほしい。
- ろう学校の最寄り駅が無人駅にもかかわらず、電光掲示板がないので聞こえない子どもたちには不便だと思うのでつけてほしい。
- 災害が起きた時、（子供だけ助かったときなど）、安否確認や、いつからどんな支援をしてもらえるのか事前に明確に知っておきたい。
- 聴覚障害者が気軽に相談できる窓口を狭い範囲で作れたらいいと思います。できれば介護のケアマネのような人が子供から大人まで節目節目で適切なアドバイスをしてくれるのが理想です。
- 新生児スクリーニングや、4 か月、9 か月、1 歳半健診などで確実に障害を見つけてほしい。
- 人工内耳装用者に対する支援や人工内耳普及活動を積極的に行っていくことが、聴覚障害者協会の今後の発展、存続につながっていくのではないかと考えています。
- サークルを通し、聾者と話をしていく中で、手話ができる人はほかにも必要としていることは知らない。市の人はどうしたら学ぶ場所があるのか、学校はどうなっているのかを知らない。私たちはだれが理解してくれるのかだれが情報を持っているのかを知らない。知らないことを知らないことが問題で、少し知ることが出来つつある”私”が出来ることをしていきたいと思っています。
- 人工内耳や補聴器をつけていてもみんなと同じ聴力はない。
- 耳の日に講演会に先回初めて参加したが若い方が少なく、高齢者の方が多く見られた。小学部の子どもはもう参加したくないと言った。
- 学べる場、相談できる場、同じ境遇の仲間と出会える場があると親も子も不安が軽減されます。安心が心にゆとりを持たせ、素敵な親子関係が築けます。今の現状では不安だらけの子育てです。ぜひ未来ある子どもたちのためにこの意見が届くことを願っております。
- 障害児の親は仕事に就けない。育児休暇は3年で終わってしまうのに、3才からろう学校で付き添いがはじまります。障害がある子供を産んだら、働いてはいけないと言っているのと同じであると思う。差別だと感じる。
- 人工内耳や補聴器で耳が活用できている子がどんどんろう学校を出ていく。仕方ないのかも。残るのは、デフファミリーや重複障害、人工内耳をしない

- 方針の子、ぎりぎりできず厳しい子ぐらいになる。
- 兄弟の行事(ろう学校と普通学校)と同じ日に体育大会や学芸会があるので、どちらか1人の行事しか見に行けないです。日程も配慮をして頂きたいです。
 - 他校とのろう児交流場を増やし、その情報をもっと欲しい。

3. きこえに障害のある子どもによる自由記述

(一部保護者が代筆)

※個人を特定した文章以外は基本的に原文のまま掲載しました。

＜社会の聴覚障害への理解について 13件＞

- ろうあ協会の方は、人工内耳のことをよく思っている方が多いと伺いました。同じ難聴者同士ですし、もっと協力出来るといいなと思うし、なぜそうになってしまうのか、とても悲しかったし、理解出来るような仕組みがあるといいなと思います。
- 難聴者にとってもっと不便を便利な世の中に変えてほしい。
- 人工内耳の認知度が低い
- 聴覚障害者は目で見ても分かりにくい障害者なので補聴器をつけていることで聞こえると思われる。
- 世間では「ろう者は耳が聞こえない」しかわかっていない。「筆談をお願いします」と言われても文章を書くのが苦手な聾者はたくさんいる。もっと聾者ということ世間の人にわかってもらわないと変わっていかないと思う。
- まだ補聴器や人工内耳を付けている子どもなどを見ると偏見的な目で見てくる方などが多くもう少し理解などをして欲しいと思う。だから私は知らない人に人工内耳の事を何か言われたら視力が悪い人はメガネをかけるのと一緒なんだよなどというように言ってあります。
- 耳が聞こえないから、かわいそう、と言われて、確かに耳が聞こえないというのは不便だし、かわいそうと思われるかもしれませんが、嫌なこととか、聞きたくないことは、聞こえない人は、補聴器外せば何も聞こえないし、嫌みとかいわれるときに、聞こえないというように役立つときもあるから、全然かわいそうじゃないと思う。
- 聞こえる人が手話を覚えてほしい。私は、日本語を覚えたい。
- 耳が聞こえないと補聴器を使えば聞こえると思っている人が多い。違うんだぞ！と思うことがある。
- 特別支援学校に子供が通っていると、母親はなかなか仕事につくことができないし、できるようになったとしても時間にとっても制限がある。長期休みも困る。子どもが落ち着いたらまた仕事ができるようになるといわれるが、そのころにはもう復帰できる場所がほとんどない。少しでもキャリアを継続できる環境が欲しい。子どもが障害児であっても、大きな生活の変化なく暮らしたい。障害児だから仕方ないと思わなければいけない環境なのが残念です。

- サッカースクールに見学に行ったら断られた（補聴器つけているため）。
- 手話で話ができる場所がたくさんあるといい。電車やバスに乗るときに手話が通じると安心です。
- 根本的な問題として、幼少期からろう学校の子はろう学校の子と過ごし健聴者と別々になっていて、お互いにお互いを理解する機会がない。そもそもろう学校だけにいると自分の困り感に気付けないし、気付いても相手に伝える技術を身につける時間が少ない。健聴者側もろう難聴の人とふれ合う機会がなく相手の困り感がわからず誤解が生じる。

<行政に対する要望 12件>

- ろう学校への送迎についてバスを出してほしい。
- 保健所の人気がやすく“聞こえているから大丈夫！”と言わないでほしい。知識もないのに…。役場は基本、助けてくれない。
- 自治体で対応が全く異なることに疑問を感じる。愛知県は優しいが三重県は話にならない。
- スクリーニング検査をしたら、あいち小児センター、名市大など、そこを紹介してほしい。たらいまわしにされて何か月も過ごしたため。
- 声が行政に届くようになればもっと良いのに
- 補聴器の補助は出るのに人工内耳の補助はどうしてでないのか
- 私の子どもは障害者手帳を取得するのに10年かかりそれまでの間補聴器購入・修理がすべて自費だった為金銭的にすごく大変だったし苦労しました。手帳がないと補助金が出ないというのは私は変だと思いました。生後すぐに聴力が悪いのが分かり補聴器を付けるようになり、市・区役所に聞きに行った時に言われました。基準に達していないと手帳が取得が出来ないのは多少理解は出来るが手帳がなくとも何らかの形で補助金が出るようになれば良いのかなって思います。私のように自費で金銭的に苦労している方はいると思います。補聴器購入・修理費はけして安いものではないので子どもも小学校、中学年くらいになるまで何度も修理や買い替えをしているので。
- ろう学校の存在を早く教えてあげてほしい。
- 調査してアンケートを集めるだけでなく実際に行動に移してほしい。
- 子供の1年、1日は大人の1年1日とは違ってとても成長が早いので、1日でも早く対応して頂きたいです。地域の保育園、小学校なども加配をつけても知識のある先生がつくわけではない。どの場所でも障害がある子どもが平等の教育が受けられるようにしてほしい。
- 健常児は幼稚園なども自分で選べるが、障害のある子供は進路の選択が出来ない。障害があっても好きな場所で自分で選択できる社会にしてほしい。

- 産後や体調をくずしても、近所の保育園の一時保育や夏休みの利用はだめだと言われる。ルールだと言われるが、こちらは体調をくずし、死ぬかと思った。

〈ろう学校・教員に対する要望 8件〉

- 学校で生徒のいる前で生徒の悪口を言う先生がいます。
- 寄宿舍の部屋を新しくしてください。
- 聾学校の先生なのに手話が使えない先生が多い。聞き取れる子はいいけど本当に聞こえない子供は困ってしまう。「聾学校なのに」と思ってしまう。
- ろう学校の先輩後輩の上下関係が強いのはよいことだと思うのですが、さすがに”やりすぎ”というときがあります。後輩の場合、立場が弱いです。相手は敵に回すと怖い人です。どうすればいいですか？先生には伝えてありますが直りません。
- 聾学校は一人一人のレベルに合わせてというよりも、みんなのレベルに合わせて進めている気がする。
- ろう学校の先生には、早急に手話をきちっと勉強して欲しい。(子どもが分かるぐらいのまちがいもある。言っていることと、表現が逆の時もある。)
- 療育などでは、モニタリングを定期的に行っていて、できるようになったこと、出来なかったことに関しては、できるようにする為に何をやるか親も何を努力すべきかをしっかり書面で教えてくれるし、見通しが親も立つが、ろう学校は担任との懇談でも、何をすべきか具体的な指導もあまりなく、あいまいでわかりにくい。
- ろう学校の預かり時間が短すぎる。特別に支援が必要な子どもの集まりなのでもっと長い時間しっかり教育を行ってほしい。ろう学校での懇談会では説明が足りない。例えば「精神的に弱いので、近所の小学校には行けません」と言われても、教育相談からずっと近所の小学校でと言っていたので、具体的な改善方法を提示してほしい。「得意なことで、自信をつけさせましょう」と言われて、「とび箱が得意で運動ができるので」と言ってもとび箱の時間があるわけでもなく運動する機会も少ないので、得意なことを発表する場面が少ない。保育園などでは、鉄棒、折り紙、あやとりなどが得意で皆に教えてあげて自信をつけたりなど、様々な体験、経験を通して自分らしさに自信をつけていくが、とにかく経験量も少ないし、得意なことを友達に教えたり、年下の子に教えて自信をつけるなどの経験も乏しく先生の指示に動けるかにはばかり重点をおいていて、主体性や、自信が育つとは思えない。幼児期の運動量にしては少ないと思う。

<通常の学校・教員に対する要望 5件>

- 一般の学校の先生に、聴覚障害についてもっと理解があるように働きかけてほしいです。ろう学校の先生は、皆、手話やコミュニケーションにたけているので、そんな先生がより多く一般の学校でも育ってくれれば、不安がなくなる気がします!!
- 高校に入り、英語のリスニングテストが中学よりも長い文章となるため紙面で見せてもらっても時間がかかるようになってしまった。その結果リスニングテストの時間が他の生徒よりも長い分筆記テストの時間を減らされ、不公平だなと感じたよう。中等度難聴は高度難聴に比べてリスニングの配慮が少ないと思う。同じ平均 50 dBでも高音が聞こえない場合は英語を聞き取る力が落ちるので、そういう面の配慮が欲しい。ろう学校を離れて普通校に行くと、気軽に相談できる場所がなく、普通校でがんばっている難聴児の情報もあまり入ってこない。こういった配慮をしてもらっているか、どういう事が困ったりするのかを事前に分かって進学する時ありがたい。
- 地域の小学校に保育園と同じクラスの子と一緒に通いたいけど、先生もみんなも手話がないからわからなくて通えない。手話がない、わからないのが理由で仲の良い友達と別々になったのがとても悲しい。(保育園では手話があったから。)
- 学校での様子は担任の先生から話を伺ったり、本人から聞いたりしていますが、本人が本当に困っていることがしっかりとわかってあげられているか不安です。子どもが親や先生、友達に相談できる環境づくりが大切だとは思いますが、なかなか難しいです。
- 学校にもどうしたらいいのか。モンスターペアレントにはなるつもりはないけど担任の先生は頑張っているのだろうけど合わない。一言一言が悩みにつながる。

<保護者の悩みについて 5件>

- 最近重なっていろいろ思うこと。人に娘のことで注意され怒りすぎてしまう自分…。娘も言葉がうまくお友達、先生、ときに家族に伝わらずにもがいたり、つらい思いをしているかもしれないと思いながら娘に何が今大切なのか(いっぱいあり過ぎて)順番的なものがわからなく。娘の得意が見てあげてないように思います。図工、絵は好きなんですけど…ではない何か。自分は分かっているようで娘のこともわかってないのかもしれない。娘を守る→守るとは？ 何から？ どのような形？ 何を？ 守ることはよくない?! 厳しいほうがこの子のため?!

- 兄弟姉妹の行事と日程がかさなって悲しい思いをさせる。
- 地区の行事に参加しても友達がいない。
- 春休み、夏休みなど長期の休みに遊ぶ友達が近くにいない。ろう学校の人数が少なく2年に1回PTAがまわってくるなど親の負担も大きい。他の障害を持ったお子さんも増えてきて、そこでの運動のバランスや体験のバランスがむずかしくなっているのかなと感じる。
- 進路相談は、ろう学校だけの視点ではなく、ST、心理の先生、療育機関の先生、進路先の先生、両親など、様々な視点から相談したい。ろう学校の先生は威圧的で相談しにくい。障害がある子供の親は働けない。(育児休暇の終了する3才からろう学校での母子通園がはじまるため。)仕事をやめるしかない。経済的にとても困る。小学部に上がっても家が遠いと正社員はあきらめざるをえない。なぜ母子で一緒なのかきちんと理由を説明して頂きたい。障害がある子供を産んだら働けないという差別だと感じる。

<学校生活について 4件>

- 本人は今通っている学校では楽しく過ごしているみたいです。私も良く学校に行ってますので、子供の様子は見たりしてます。いつもニコニコして楽しそうにしています。
- クラスで話せる友達がいない。ほかのクラスに仲の良い友達が行ってしまった。一人でいるのは気楽けどさみしいです。ただ会話しようにも相手の言っていることがほとんどわからない。
- 人工内耳の発達や少子化でクラスに1人などがある。
- 18年間ずっと1人クラスだと思うと心配だと感じる。遊びが広がらないと思う。子供同士の関わりやいざこざの少なさも気になります。

<進路・就労について 3件>

- 障害を持つ子の親御さんはみな同じだと思いますが、目先の進路ではなく、大人になった時どんな道があるのかを知りたいと思います。そして、その道はできるだけたくさん作ってあげたいと思っています。その前に道が閉ざされてしまっている気がしてなりません。自分で調べはしますが、限界もあります。将来を見据えた進路、情報等を教えていただけると助かると思います。
- ニュースにもなっていますが、聴力に不安がある人の離職が増加しているとあります。大阪では、「大阪ろう就労支援センター」が設立されて半年、支援をしているが、離職転職が多く就労支援センターも全国にあるわけではない。

- ・トヨタやスズキの工場に行ったり、働いてる人に話を聞いても、結局ろうの人はろうの人の集団があり、別な感じがすると聞きました。別々の学校にいて、社会に出て急に対応出来るものではないのでしょうか？ 就職後のケアも必要だと思う。

<字幕について 3件>

- ・テレビで字幕がないと困っています
- ・日本の映画でも字幕があってほしい。
- ・うちの場合、息子が聾者で将来作業所を考えている。でも作業所で手話を使える人がいない。安心して通わせられる作業所が家の近くに欲しい。

<障害の受容について 2件>

- ・どうして聞こえなくなったんだろう？
- ・ちゃんと聞こえるようになりたい。周りの状況について行けるようになりたい。

<相談できる場について 2件>

- ・まだ小1なので本人に聞いても問題として本人が困ってたりしているのがあいまいな点が多く、これから先たくさんのお悩みとか出てくるのではと思います。そういう時に相談できる身近な人がいれば本人にとっても親にとっても頼もしいことだろうと思うので、つながりを持っていきたいと思っています。そういうつながりの場があるといいと思います。
- ・周りの人に相談できない・障害について相談できる場所が増えるといいです

<重複聴覚障害児のコミュニケーション・子育て・進路について 2件>

- ・重複障害児で、知的障害があり、言葉が出ていません。少しの手話と、少しの言葉の聞き取りができます。普段は指さし、表情を主で子どもとコミュニケーション・意思疎通をとっています
- ・難聴の重複障害（知的・四肢）はかなり少数みたいで、進路を考えるたび、難聴だから、知的があるから、四肢が不自由だから…と受け入れを暗に拒否されつらい思いをした経験もあります。

<その他 14件>

- ・子どもが質問に答えられず、母が代筆しました。
- ・本人にいろいろ聞きましたが、なにぶんまだ4歳なので質問の意図をつかむのは難しく、正確な回答を導くのは無理でした。ところどころ回答しました

が、不十分なため、有効回答とするかどうかはお任せします。本アンケートがどのような形になるかわかりませんが、集計結果をいただけるようであればうれしく思います。我が子と同様、中程度の子どもがどのような回答をしているのか非常に気になります。

- 細かい感情の動きはまだわからないので、アンケートも回答できない箇所、親の想像で回答したところもあります。
- まだまだ知らないことが沢山あります。今回のアンケートでもわからないことがあります。本人が理解できるところだけ答えました。
- 低学年の子供、特に聴覚と別に障害を持っている子には質問内容が難しいと思いました。やっと会話のやり取りができてきて、という子の場合にはむずかしいかと。
- 問15以降は子供がまだ幼稚園4歳児クラスなので、難しくあまり応えられませんでした。すみません。
- 障害者である私たちのために、アンケートまで取ってくださってありがとうございます！そして、頑張ってください!!
- 子どもとまだしっかりコミュニケーションが取れないため、聞きだして書くことはできません。
- 本人への質問は予想で記入してあります。(ほぼ答えることができないため)
- 聾学校に行っていない難聴児とその親の実態調査は行わないのか？
- 発音のことについて、発音がうまくできなくて、笑われて、最初はむかついたけど、笑われることによって、悔しさがあがり、少しずつできるようになると思う。
- 手話サークルなどでいろんなことをおしえてもらえることもある。
- 手話ができるようになりたいけど覚えられるか不安だ。



愛知県聴覚障害児・者の暮らし実態調査 に寄せられた みんなの思い=自由記述

2019年4月

発行：一般社団法人愛知県聴覚障害者協会

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸一丁目7-2 桜華会館2階

FAX：052-221-8154 TEL：052-221-8545

E-Mail： a18154@sage.ocn.ne.jp <https://aichi-deaf.jimdo.com/>

印刷・製本：株式会社 クイックス

〒456-0004 愛知県名古屋市熱田区桜田町 19-20

FAX：052-889-1410 TEL：052-871-9190

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写・複製（コピー）することは、著作者および発行者の権利の侵害になりますので、その場合はあらかじめ一般社団法人愛知県聴覚障害者協会あてに許諾を求めてください。



一般社団法人

愛知県聴覚障害者協会